

工事説明書

工事の前にこの説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

もくじ

安全上のご注意	2	LL 操作ユニットとマスターテープレコーダー のマスター卓への取り付け	42
設置工事の前に	4	ボタンカバーの LL 操作ユニットへの取り付け	43
設置工事手順のフローチャート	8	電源ユニット(WU-PS20/PS21)の設置	43
機器配置図(例)	9	ブース卓の組み立て	45
システム構成図(例)	10	ブーステープレコーダーの取り付けと接続	47
ケーブルについて	12	ブーステープレコーダーのアドレス設定	49
WE-LL200シリーズシステム構成	13	ブース用モニターテレビの接続	50
電源(AC100V)の配線	31	システムチェック	51
ブース用モニターテレビ電源配線について	33	システムの自己診断	55
袖卓の組立とコーナー天板の取り付け	34	エキスパート機能の設定	56
マスターテープレコーダーの接続	38	レッスンパターン設定シート	58
スピードコントロールユニットの接続	39		

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

必ず販売店に依頼してください。

一人で持ち運ばない



けがの原因となります。

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となります。

禁止

異物を入れない



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

禁止

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

電源コードを傷つけない



重いものをのせたり、はさんだりするとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

禁止

修理は販売店にご連絡ください。

電源コードを熱器具に近づけない



コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。

禁止

分解しない、改造しない



火災や感電の原因となります。

分解禁止

修理や点検は販売店にご連絡ください。

異常があるときは、
すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。

ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

電源コードは、必ずプラグ
本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

抜くときは電源プラグを持って抜いてください。

モニター内部に触れない



内部に高電圧があり、感電の原因となります。

高圧注意

 **注意**

踏み台や腰掛けにしない



けがの原因となります。

禁止

通風孔をふさがない



内部に熱がこもり火災の原因となります。

禁止

設置工事の前に

1. 納入システムを再度確認してください。
2. システムコンポーネントに欠品はありませんか。
システム構成図に記載されているコンポーネントに欠品はありませんか？ コンポーネントが1品でも欠品するとシステムは完成しません。コンポーネントの付属品についてもそれぞれ明細書と照合してください。
3. 座席表は作成されていますか。
4. レッスンパターンの登録内容を事前に作成してください。
5. 同一室内に調光器を設置しないでください。
6. LL4 倍速テープレコーダーのシステム構成上のご注意
モニターテレビをブース側に設置およびマスター卓側に設置するシステムを構成する場合、次の項目に注意してください。

ブースケーブルは末尾“S”付きのシールドケーブルを使用してください。

従来のブースケーブルを使用すると4倍速録音時に、モニターテレビの妨害ノイズがテープに録音されることがあります。

モニターテレビをマスターコンソール側に設置する場合、次に示すようにモニターテレビとマスターテープレコーダーの距離を離してください。

WV-CM1000	MTR から30cm 以上離してください。
WV-CM1430	MTR から50cm 以上離してください。

ブース卓 (WE-L151A/WE-L152A) はモニターテレビ (WV-CM1000/WV-CM1430) 用になっています。
AC100V の電源線はテープレコーダー、マスター卓の幹線系と、モニターテレビの幹線系を分けてください。

7. 現地調達ケーブルについて

BNC コネクタ、PIN コネクタ、同軸線、スピーカーケーブル、シールド線、電源用キャップタイヤコードなどは現地で準備してください。詳細は12ページ参照。

省略用語・言い換え語例

MTR ↔ マスターテープレコーダー

BTR ↔ ブーステープレコーダー

VTR ↔ ビデオテープレコーダー

BSW 基板 ↔ ブーススイッチ基板

AMP 基板 ↔ 音声アンプ基板

CRT ディスプレイ ↔ ブラウン管

プログラム ↔ 教材

PROG ↔ プログラム

Key ↔ 操作ボタン

NOVRAM ↔ 不揮発性 RAM

8. 接地工事について

LL システムへのノイズ対策のために、LL用電源ユニット、増設用電源ユニットは必ず接地工事をしてください。

9. テープレコーダーについて

使用するテープレコーダーにより、機能が異なります。下記をご参照ください。

テープレコーダー機能表

テープレコーダー品番	テープレコーダーの機能		
	4倍速	4倍速録音中の教材送出的	イジェクトロック
WE-LM51			×
WE-LM20	×	×	×
WE-LB51			
WE-LB20A	×	×	×

：有り ×：なし ：マスター卓の機能に依存

10. 4チャンネルのソースに対する基本的な教材ソースの考えかた

- ・CH1、2はマスターテープレコーダーを割り当てます。CH1、2に対してはOHC、ビデオフロッピーなどのように音声のない映像信号をビデオ入力に割り当てます。
- ・CH3、4はVTRやレーザーディスクのAVソースを割り当てます。

11. 生徒記名シートについて

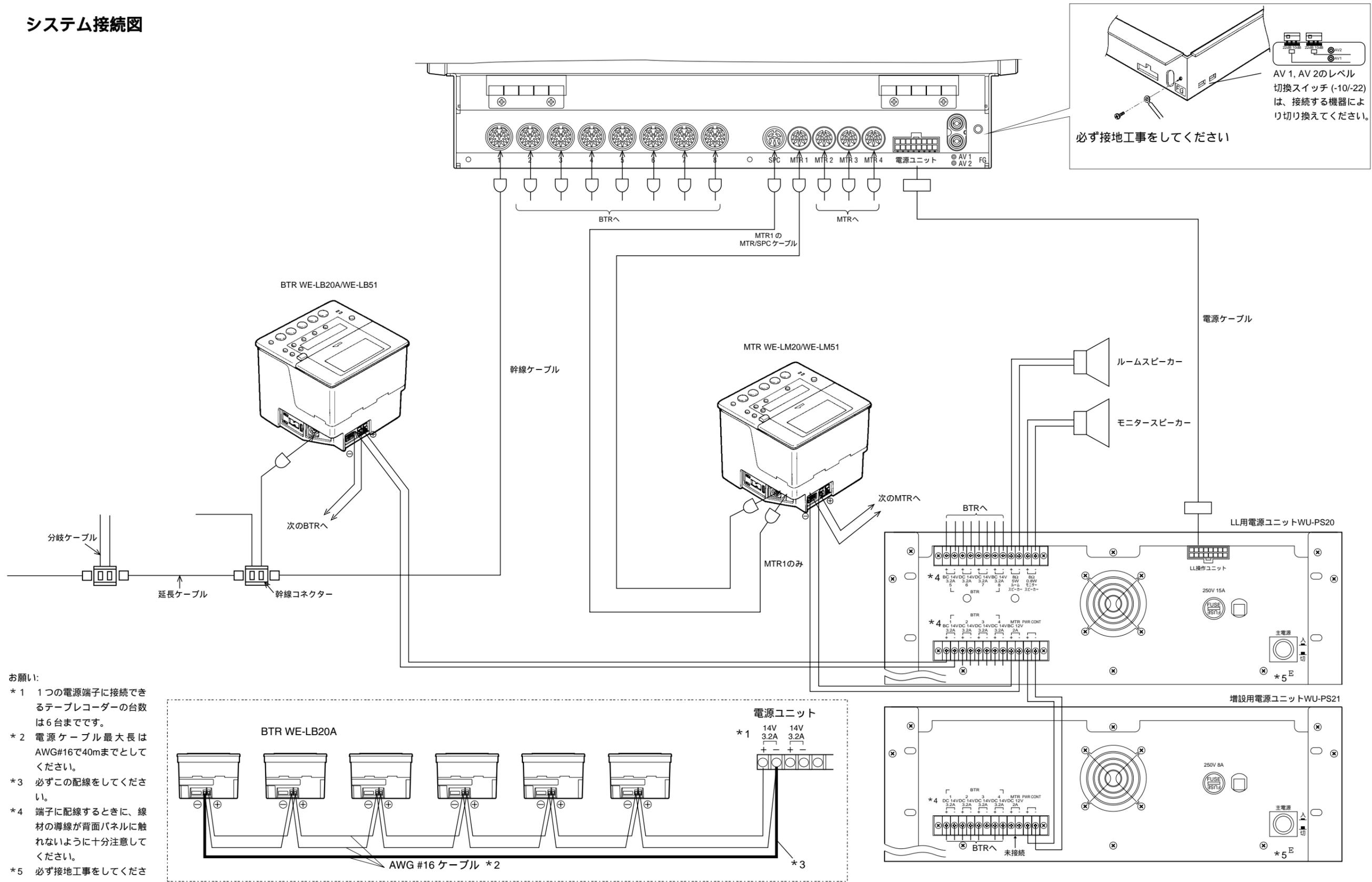
5枚付属していますが、別途お求めになる場合は、お買い上げの販売店へご依頼ください。

品名：生徒記名シート

品番：YWA5DA0428A2

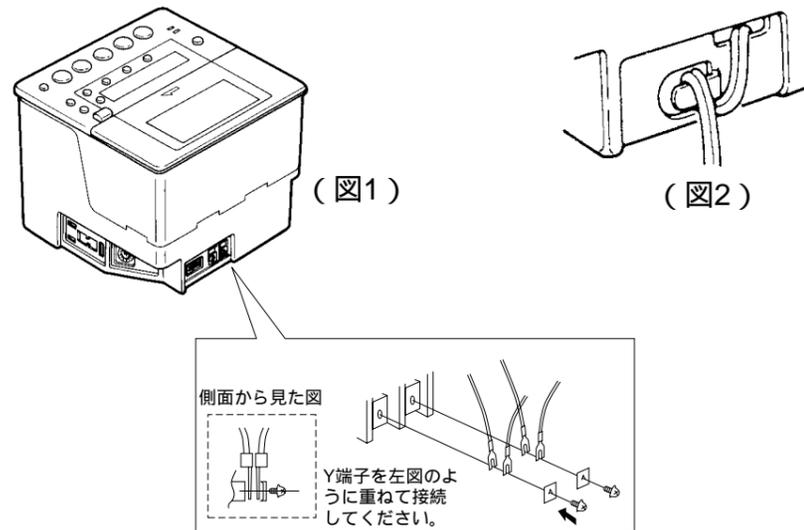
設置工事の前に

システム接続図



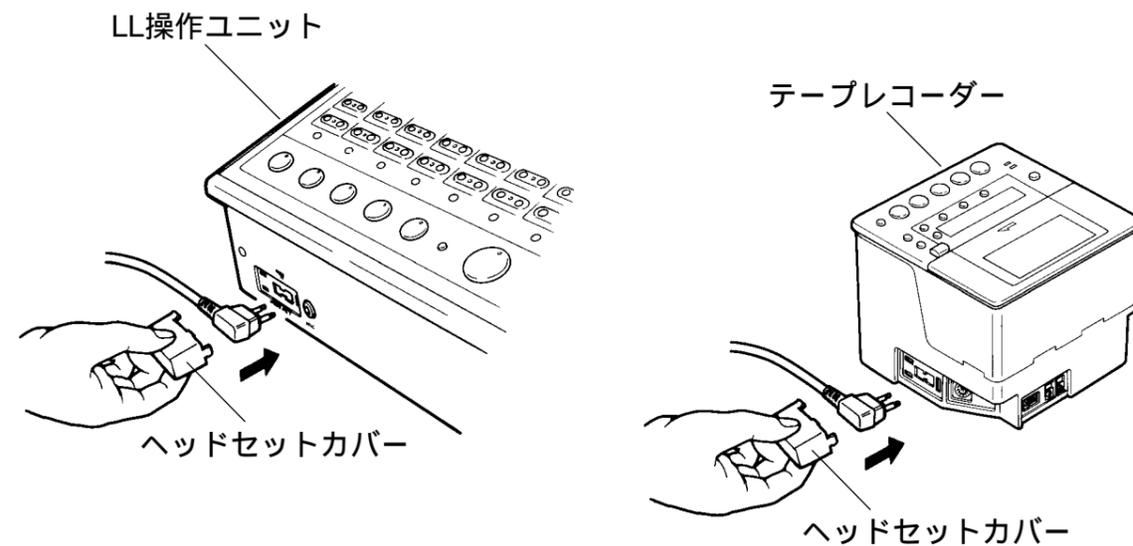
マスター/ブースタレコーダーの電源配線のしかた

- ① アドレスカバーをはずします。
- ② 端子のねじ2ヶ所をはずします。(図1)
- ③ Y端子を取り付けたケーブルを接続します。(図1)
- ④ 図のように電源コードをクランプします。(図2)
アドレスの設定が終了したら、アドレスカバーを取り付けます。

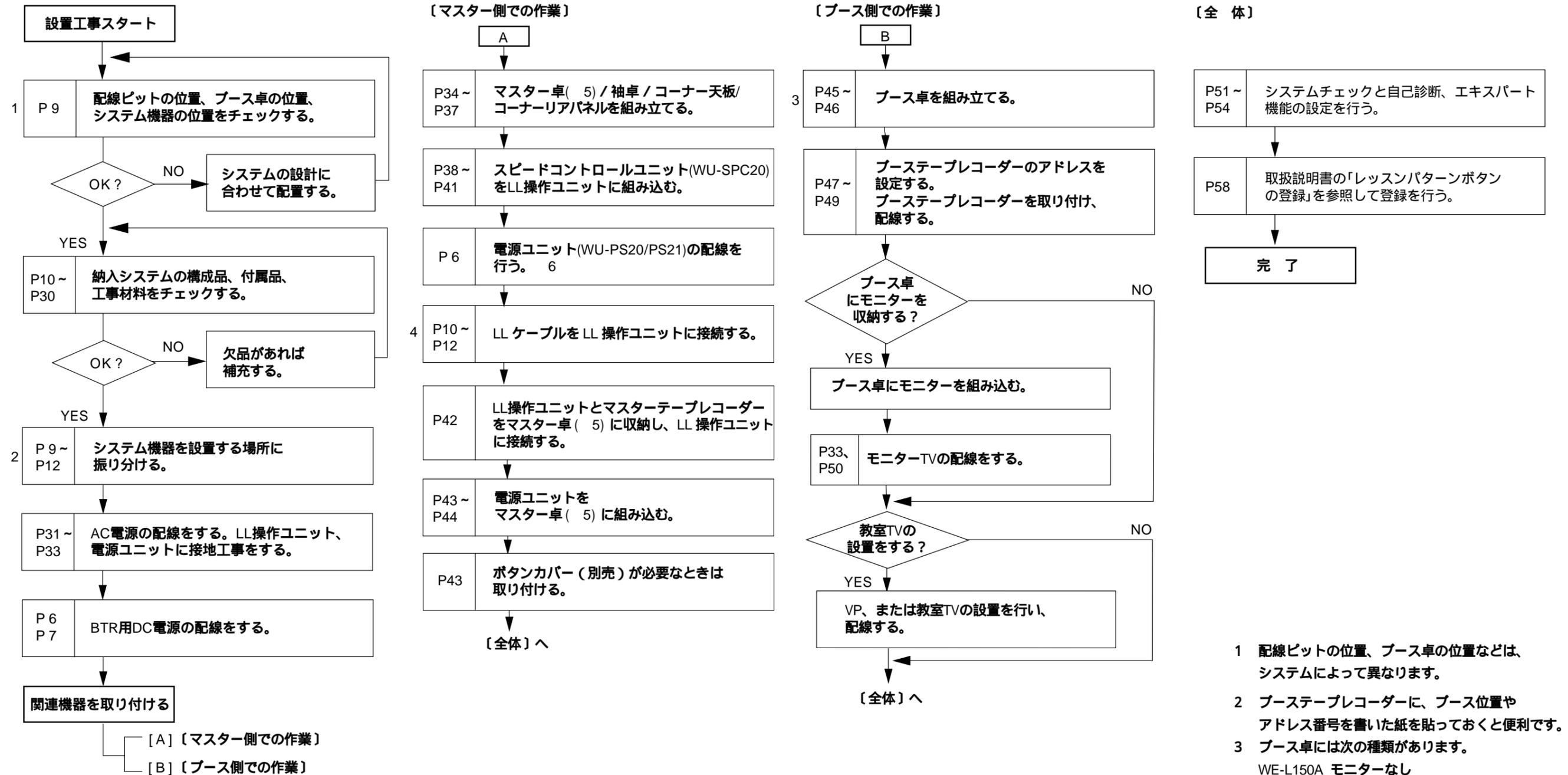


ヘッドセットカバーの取り付けのしかた

図のように取り付けてください。

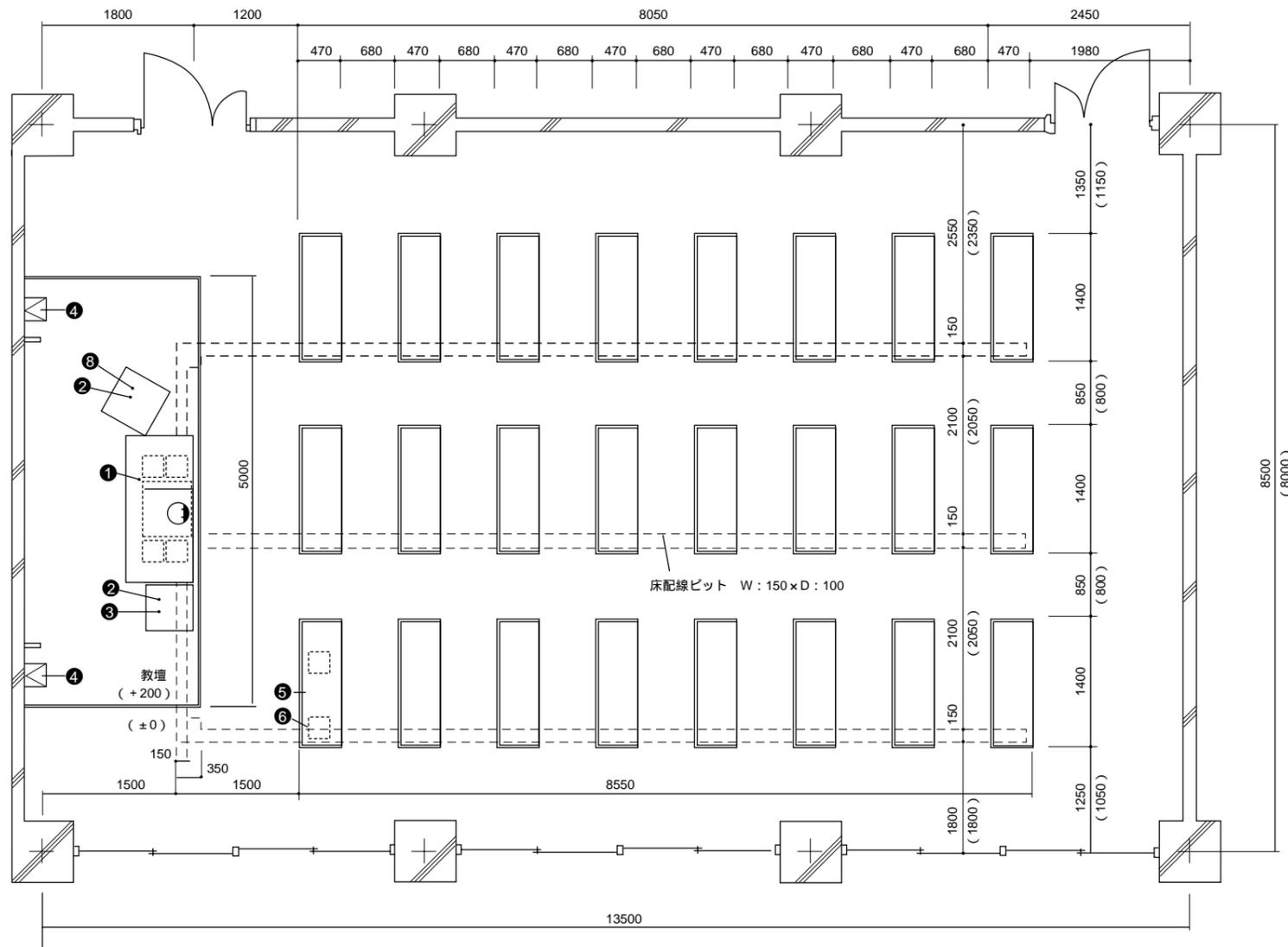


設置工事手順のフローチャート

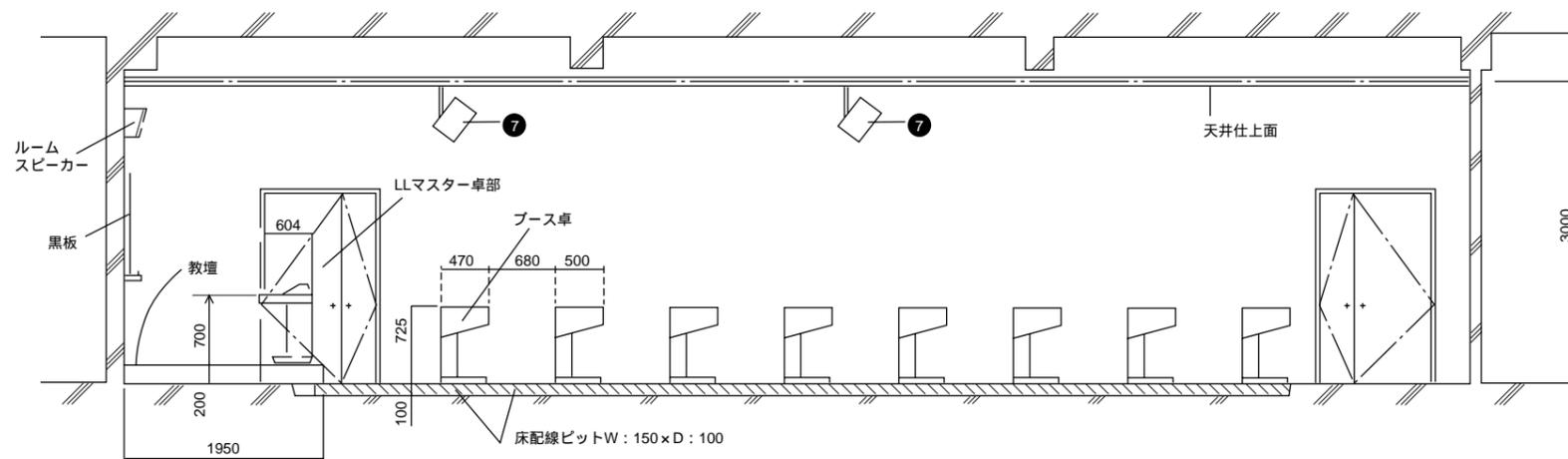


- 1 配線ビットの位置、ブース卓の位置などは、システムによって異なります。
- 2 ブーステーブルレコーダーに、ブース位置やアドレス番号を書いた紙を貼っておくと便利です。
- 3 ブース卓には次の種類があります。
WE-L150A モニターなし
WE-L151A 10型モニター用
WE-L152A 14型モニター用
- 4 接続する前に、それぞれのケーブルコネクタに、端子名などを書いた紙を貼っておくと接続の時便利です。
- 5 城下工業株式会社幹旋品
- 6 スピードコントロールユニット(WU-SPC20)はオプションです。

機器配置図(例)



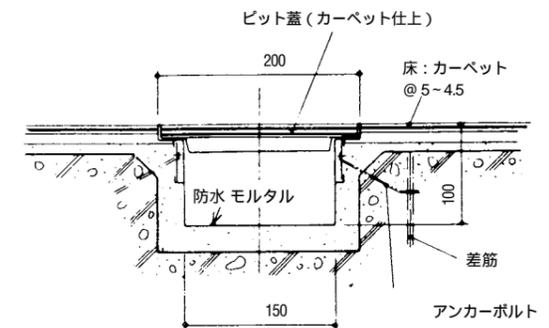
LL 教室正面図



LL 教室断面図

標準システム機器表

番号	内 容	数量	
①	LL 操作ユニット	WE-LL210	1 式
	LL 用電源ユニット	WU-PS20	
	増設用電源ユニット	WU-PS21	
	マスター卓	城下工業株式会社幹旋品	
	マスターテープレコーダー	WE-LM20, WE-LM51	
	ヘッドセット	WE-HS10	
②	オーバーヘッドカメラ	WE-MV180	1 式
	袖卓	WE-L190A	
③	VTR	AG-5700 AG-7350	
	LD	VD-7000	
④	壁掛型ルームスピーカー		1
⑤	2人用ブース卓	WE-L150A, WE-L151A, WE-L152A	24
⑥	ブーステープレコーダー	WE-LB20A, WE-LB51	48
	ヘッドセット	WE-HS10 (WE-LB20Aの場合) WE-HS21 (WE-LB51の場合)	
⑦	大型教室モニターテレビ		1 式
⑧	その他	映像分配器等	1 式



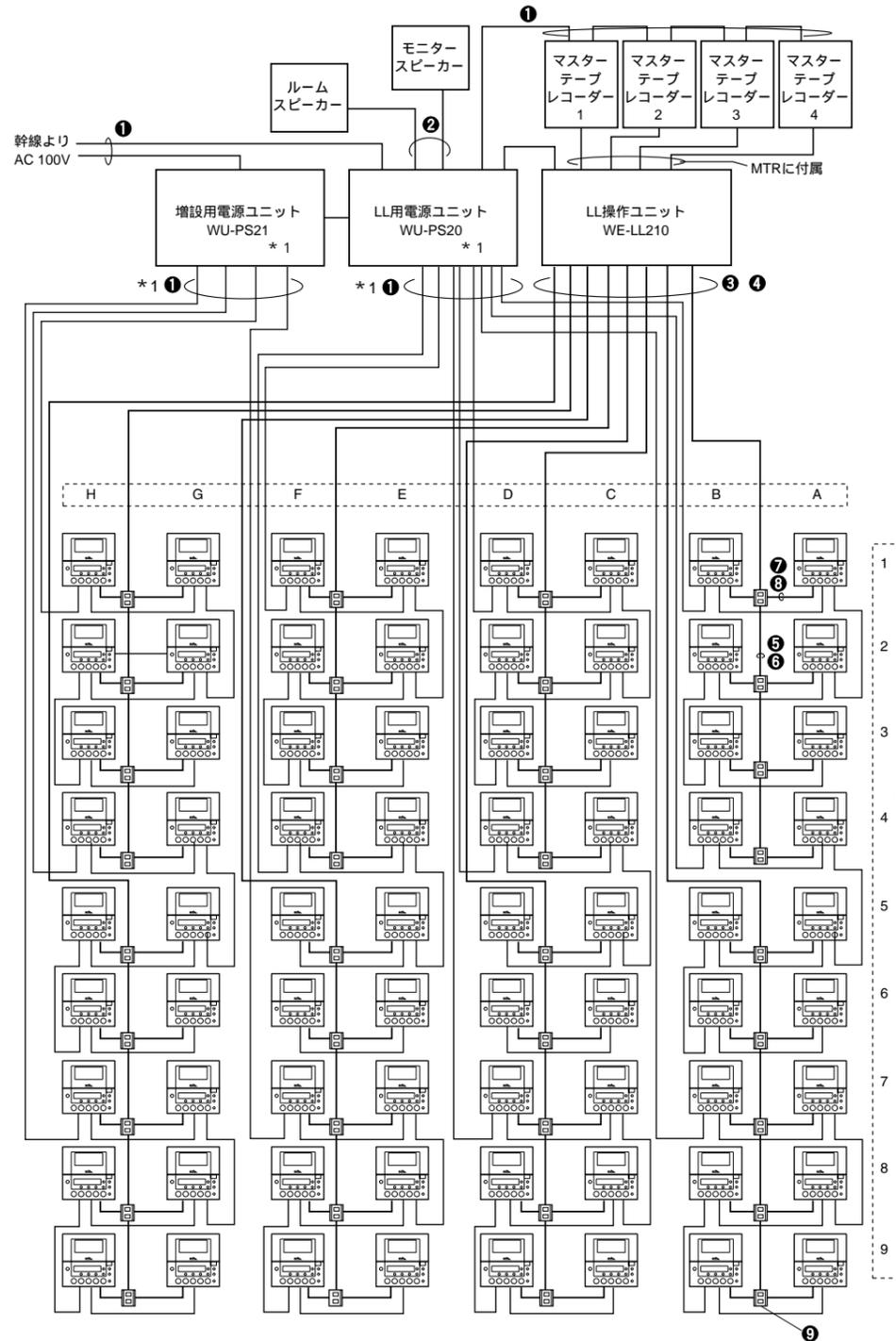
床配線ビット断面詳細図

システム構成図(例)

例1. 72人用

マスター部 : MTR WE-LM20×4、スピーカー WS-1250×2、

ブース部 : BTR WE-LB20A(9×8)、モニターなしブース卓 WE-L150A、



MTRとBTRのアドレス番号は38、49ページ参照。

① : 黒丸数字は12ページ工事ケーブル仕様参照。

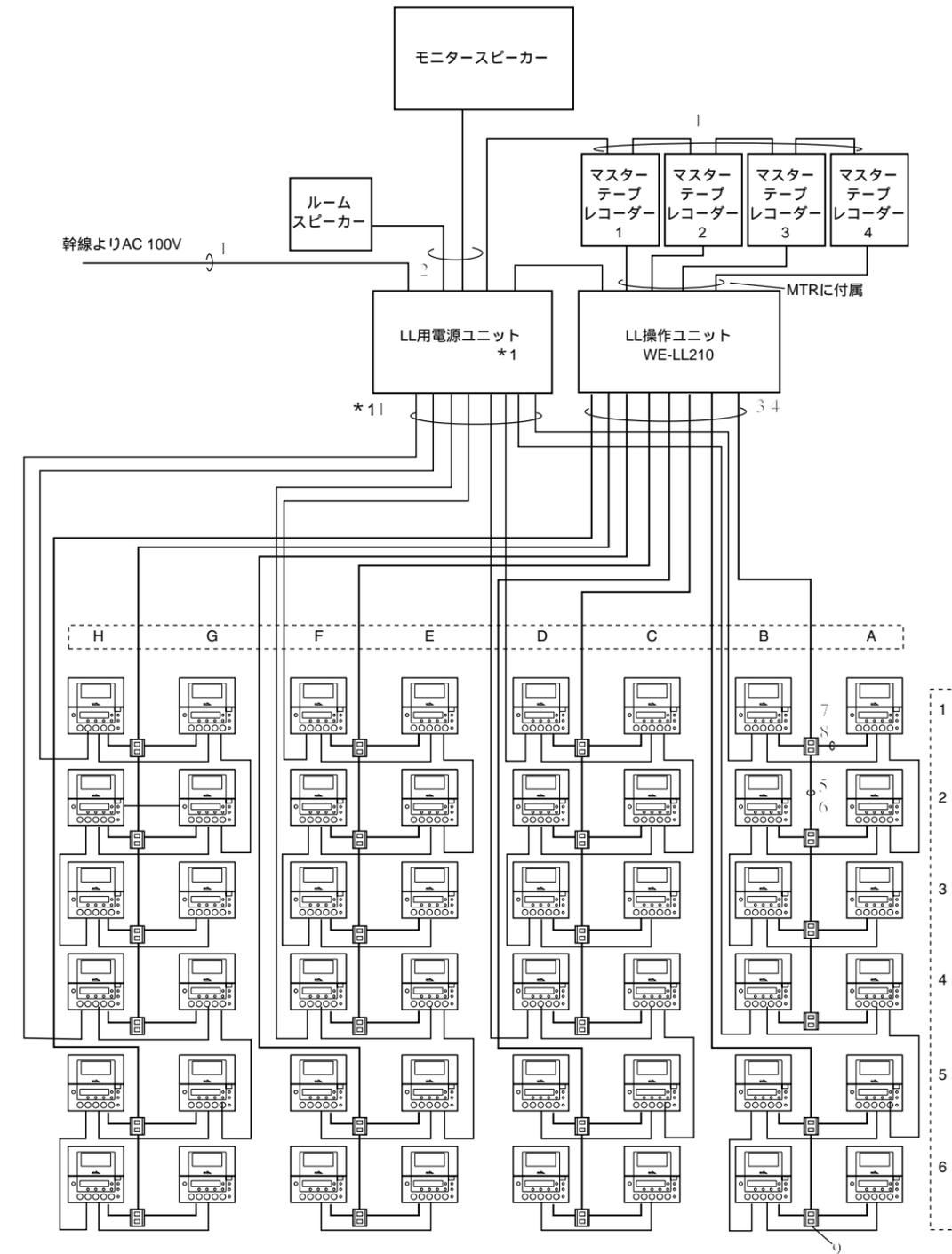
*1 : 電源ユニットのブース電源供給端子1つからBTRへの配線は最大6台までです。

BTR電源配線は電源ユニット ↔ BTR間で40m以内 (AWG#16使用) としてください。

例2. 48人用

マスター部 : MTR WE-LM20×4、スピーカー WS-A200×2

ブース部 : BTR WE-LB20A(6×8)、ブース卓 WE-L151A



MTRとBTRのアドレス番号は38、49ページ参照。

① : 黒丸数字は12ページ工事ケーブル仕様参照。

*1 : 電源ユニットのブース電源供給端子1つからBTRへの配線は最大6台までです。

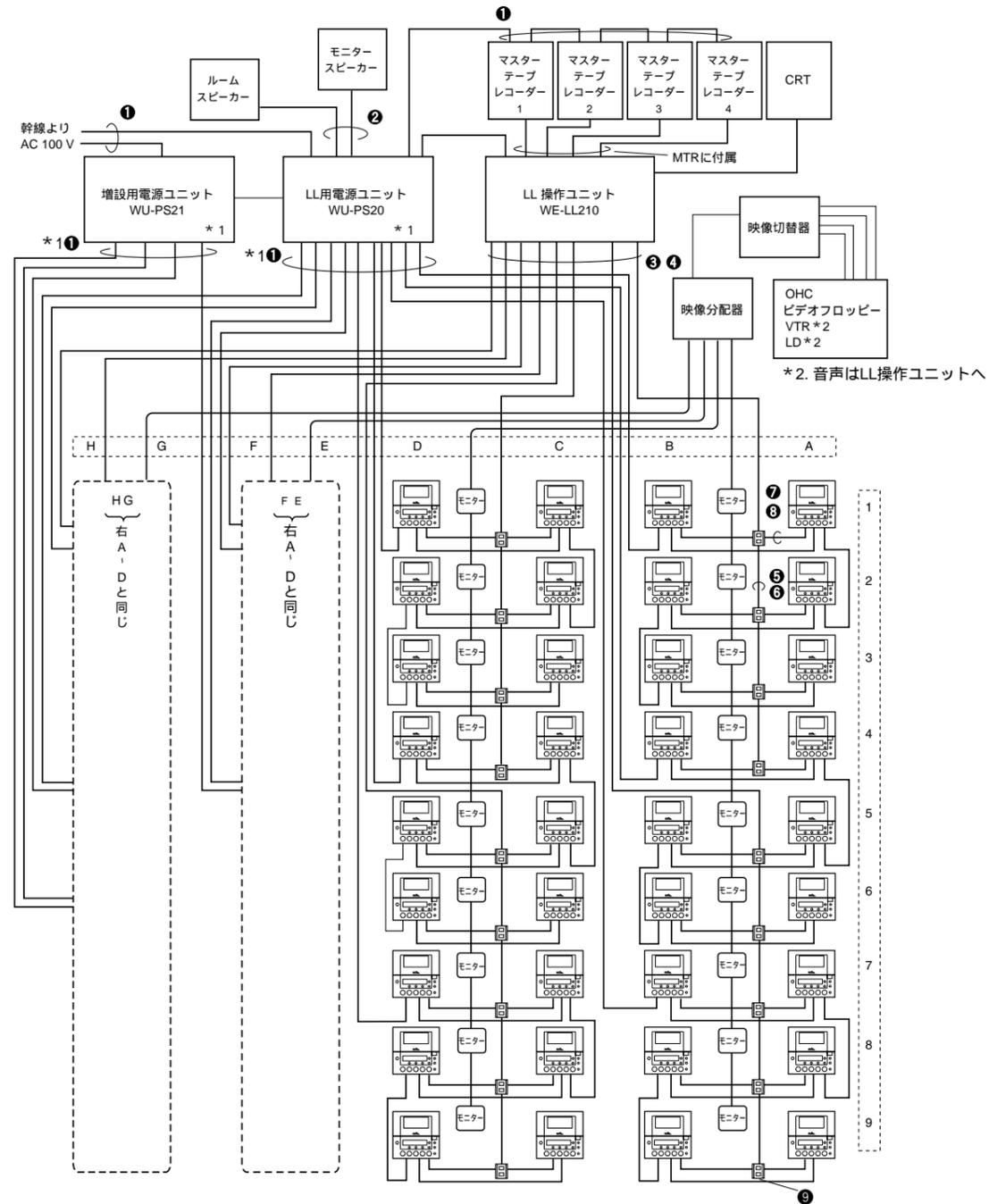
BTR電源配線は電源ユニット ↔ BTR間で40m以内 (AWG#16使用) としてください。

システム構成図(例)

例3. AV-LL

マスター部 : MTR WE-LM20×4、VTR、LD、スピーカー WS-A200×2、OHC WE-MV180、ビデオフロッピー、
映像分配器、映像切替器

ブース部 : BTR WE-LB20A(8×8)、生徒用モニターテレビ WV-CM1000、WV-CM1430、モニター用ブース卓
WE-L151A、WE-L152A



MTRとBTRのアドレス番号は38、49ページ参照。

① : 黒丸数字は 12 ページ工事ケーブル仕様参照。

* 1 : 電源ユニットのブース電源供給端子 1 つからBTRへの配線は最大 6 台までです。

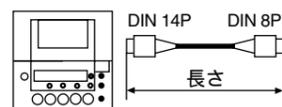
BTR電源配線は電源ユニット ↔ BTR間で40 m以内 (AWG#16使用) としてください。

ケーブルについて

ケーブル長は機器配置に基づいて決めてください。実際に使用される機器により、BNCコネクタやPINコネクタ、キャノンコネクタなど異なりますので、機器の仕様を確認してください。

ケーブル区分	工事仕様	ピットあり(幹線コネクタをピット内に収納)	ピットなし(幹線コネクタを机に設置)	工事ケーブル仕様	48人(6列×8行) 時必要数	
					ピットあり	ピットなし
電源ケーブル				①キャップタイヤケーブル	1	
スピーカーケーブル				②スピーカーケーブル スピーカー 片側を電源ユニットに、もう一方をスピーカーに接続する。	1	
マスター卓と、最初のブース卓間の幹線ケーブル仕様				③幹線ケーブルA 品番 マスター卓へ 幹線コネクタ 8m DIN 14P 角形14P W4-14E/T80S	3	3
ブース卓間の延長ケーブル仕様				④幹線ケーブルB マスター卓へ 幹線コネクタへ 15m DIN 14P 角形14P W4-14E/T150S	3	3
ブース卓間の延長ケーブル仕様				⑤延長ケーブルA 幹線コネクタへ 幹線コネクタへ 2m 角形14P 角形14P W4-14E/J20E	18	--
ブース卓間の延長ケーブル仕様				⑥延長ケーブルB 幹線コネクタへ 幹線コネクタへ 4.5m 角形14P 角形14P W4-14E/J45S	--	18
ブース卓間の延長ケーブル仕様				⑦分岐ケーブルA 幹線コネクタへ ブーステーブルコーダーへ 1m 角形14P DIN 14P W4-14E/B10S	--	48
ブース卓間の延長ケーブル仕様				⑧分岐ケーブルB 幹線コネクタへ ブーステーブルコーダーへ 2.2m 角形14P DIN 14P W4-14E/B22S	48	--
ブース卓間の延長ケーブル仕様				⑨幹線コネクタ W3-CNB7800 幹線コネクタにケーブルを接続した場合のスペース寸法	24	24

● マスターテーブルコーダー音声リモコンケーブルおよびWE-LM51のMTR/SPCケーブルはマスターテーブルコーダーに付属されています。(リモコンケーブル)



長さ WE-LM20:1.5m
WE-LM51:2.0m

上記 番号はシステム構成図(例)に記載しているケーブル類の番号です。

WE-LL200 シリーズシステム構成

マスター部

LL 操作ユニット	WE-LL210.....	1
LL 用電源ユニット	WU-PS20.....	1
増設用電源ユニット	WU-PS21	0~1
マスター卓	城下工業株式会社幹旋品	1
袖卓	WE-L190	任意
コーナー天板	WU-L210A (オプション)	0~2
60 コーナー用リアーパネル	W2-EP/L210 (オプション)	0~2
ヘッドセット	WE-HS10 (モノラル仕様)	1
外部マイク	(オプション)	1
マスターテープレコーダー	WE-LM20, WE-LM51	2~4
OHC	WE-MV180.....	1
映像分配器	WJ-300C (システム構成により必要)	0~8
スピードコントロールユニット	WU-SPC20 (オプション)	0~1

スピードコントロールユニット (WU-SPC20) を使用するときは、必ずマスターテープレコーダーには、WE-LM51を使用してください。

ビデオ (事) 扱い

VTR	AG-5700	1~2
	AG-7350	1~2
LD	VD-7000	1~2

ブース部

ブース卓	WE-L150A.....	最大36
	WE-L151A (10型モニターテレビ (WV-CM1000) 用)	最大36
	WE-L152A (14型モニターテレビ (WV-CM1430) 用)	最大36
ブーステープレコーダー	WE-LB20A.....	最大72
	WE-LB51.....	最大72
10型モニターテレビ	WV-CM1000(WE-L151A 使用時)	最大36
14型モニターテレビ	WV-CM1430(WE-L152A 使用時)	最大36
ヘッドセット	WE-HS10(WE-LB20Aのとき)	最大72
	WE-HS21(WE-LB51のとき)	最大72

WE-LL200 シリーズシステム構成

LL 操作ユニット WE-LL210

定格

チャンネル別入力

ch1	MTR1	:	- 10 dB	22 k	MTR-DIN
ch2	MTR2	:	- 10 dB	22 k	MTR-DIN
ch3	AV1	:	- 10/ - 22 dB	22 k	ピンジャック
	MTR3	:	- 10 dB	22 k	MTR-DIN
ch4	AV2	:	- 10/ - 22 dB	22 k	ピンジャック
	MTR4	:	- 10 dB	22 k	MTR-DIN

マイク入力

ヘッドセット(マイク):	- 62 dB	47 k	ミニジャック
外部マイクロホン:	- 62 dB	47 k	大型単頭ジャック

フォン出力

ヘッドセット(フォン):	- 20 dB	32	ミニジャック
--------------	---------	----	--------

スピーカー出力 (LL用電源ユニットへ)

モニタースピーカー:	- 10 dB	600	16Pコネクター
ルームスピーカー:	- 10 dB	600	16Pコネクター

録音出力

MTR2	:	- 22 dB	470	MTR-DIN
------	---	---------	-----	---------

幹線ライン入出力

●プログラムライン 4系統×8	
入力	: - 26 dB 180
出力	: - 26 dB 1 k
●通話ライン 4系統×8	
入力	: - 22 dB 220
出力	: - 22 dB 1 k
●制御ライン	
入力	: 正極性 100 プルアップ
出力	: 正極性 100 プルアップ

リモコン出力

M T R	: TTL調歩同期方式
B T R	: TTL調歩同期方式
電源制御	: トランジスタマイク接点 (LL用電源ユニット)

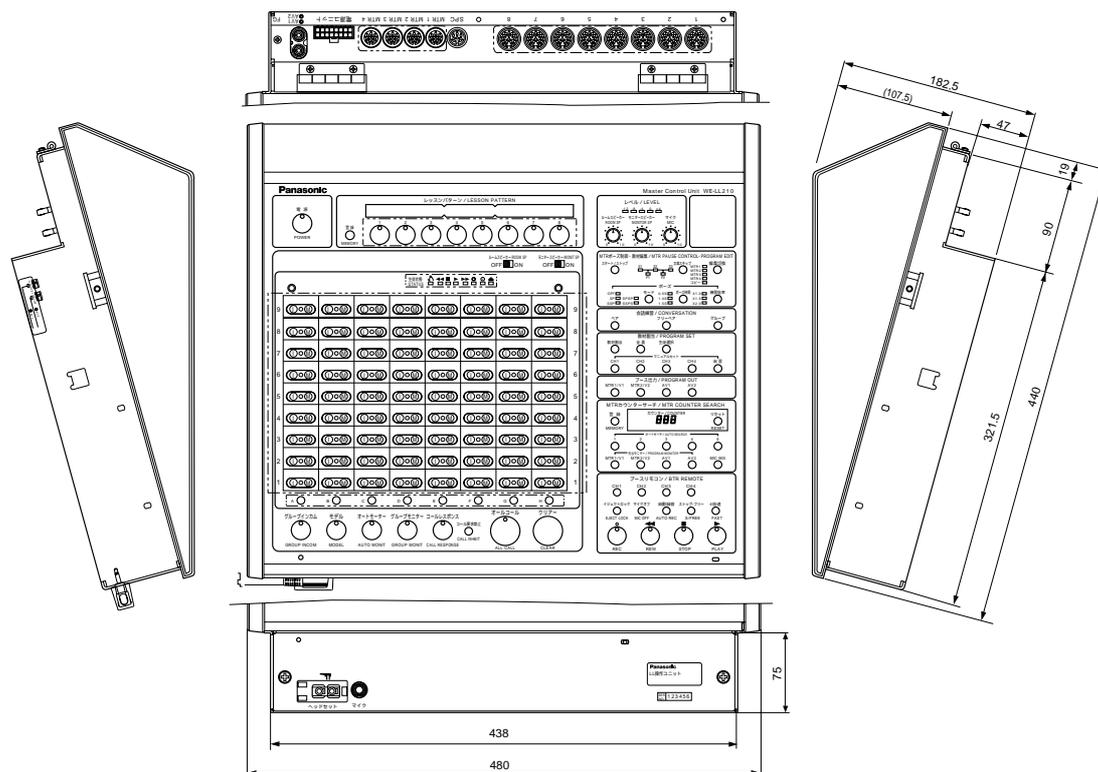
周波数特性

周波数特性	: 50 Hz ~ 15 kHz
S / N	: 総合50 dB以上
ひずみ率	: 1%以下
電源	: LL用電源ユニットより供給
質量	: 約8.0 kg
寸法	: 480(幅)×182.5(高さ)×440(奥行)mm
仕上げ	: AVアイボリー
	(マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

付属品

生徒記名シート.....	5	エキスパート機能シート.....	1
目隠しラベル.....	1	番号ラベルシート.....	1
電源ケーブル.....	1	プラグカバー.....	1
		コードクランプ.....	9

外観寸法図



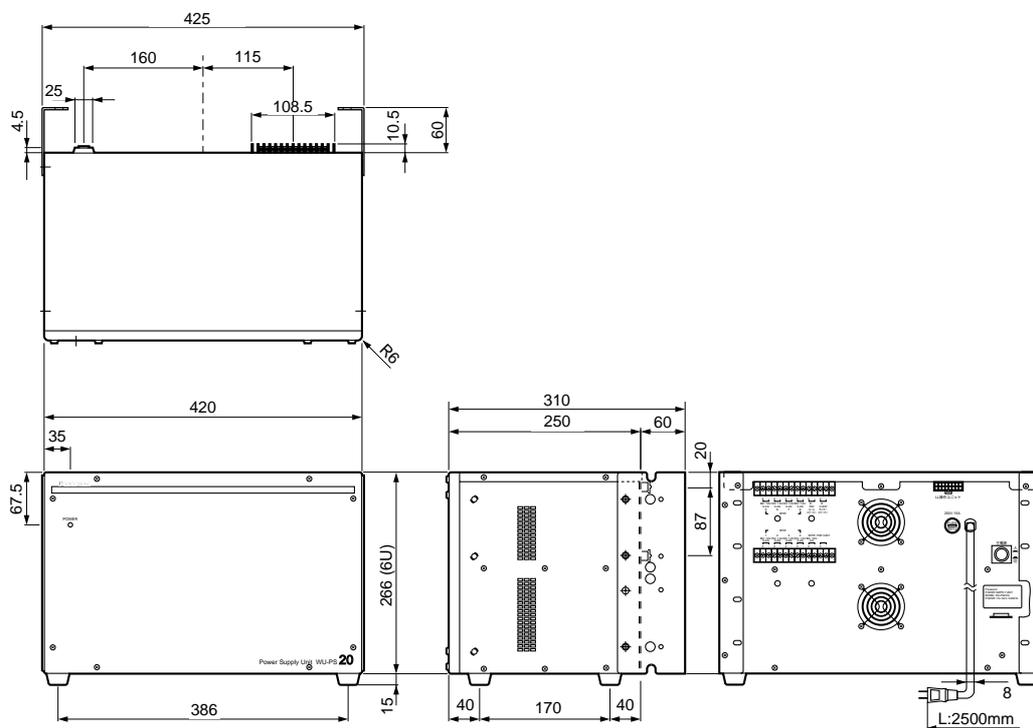
LL 用電源ユニットWU-PS20

定格

電 源	: AC100V (50/60Hz)		
消 費 電 力	: 660W (最大時) 28W (最小時)		
定 格 出 力	: 電源出力部		
	ブースタプレコーダー1~8	+ 14V 3.2A	端子台
	LL操作ユニット +5V系	+ 5.3V 2.6A	16Pコネクター
		+ 12V 700mA	16Pコネクター
		- 12V 400mA	16Pコネクター
	マスターテープレコーダー	+ 12V 2.0A	端子台
	音声出力部		
	モニタースピーカー出力	0.8W 8 (不平衡)	端子台
	ルームスピーカー出力	5W 8 (BTL出力)	端子台
定 格 入 力	モニタースピーカー入力	- 10dB 20k (平衡)	16Pコネクター
	ルームスピーカー入力	- 10dB 20k (平衡)	16Pコネクター
その他入出力	LL操作ユニットコネクタ	専用インターフェース	16Pコネクター
	(スピーカー制御、電源制御)		
	電源制御出力	トランジスタマイク接点	端子台
周波数特性	モニタースピーカー	100Hz ~ 10kHz	
	ルームスピーカー	100Hz ~ 10kHz	
S / N	モニタースピーカー	75dB以上	
	ルームスピーカー	75dB以上	
歪 率	モニタースピーカー	5.0%以下	
	ルームスピーカー	0.5%以下	
寸 法	: 425(幅)×281(高さ)×310(奥行) mm		
質 量	: 約30kg		
仕 上 げ	: AVアイボリー (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)		

付属品

ヒューズ (15A)1



WE-LL200 シリーズシステム構成

増設用電源ユニットWU-PS21

定格

電 源 : AC100V (50/60Hz)

消 費 電 力 : 310W (最大時) 12W (最小時)

定 格 出 力 : 電源出力部

ブーステープレコーダー1~4

+ 14V 3.2A

端子台

マスターテープレコーダー

+ 12V 2.0A

端子台 (未使用)

その他入力 : 電源制御

トランジスタメイク接点

端子台

寸 法 : 425(幅) × 281(高さ) × 310(奥行) mm

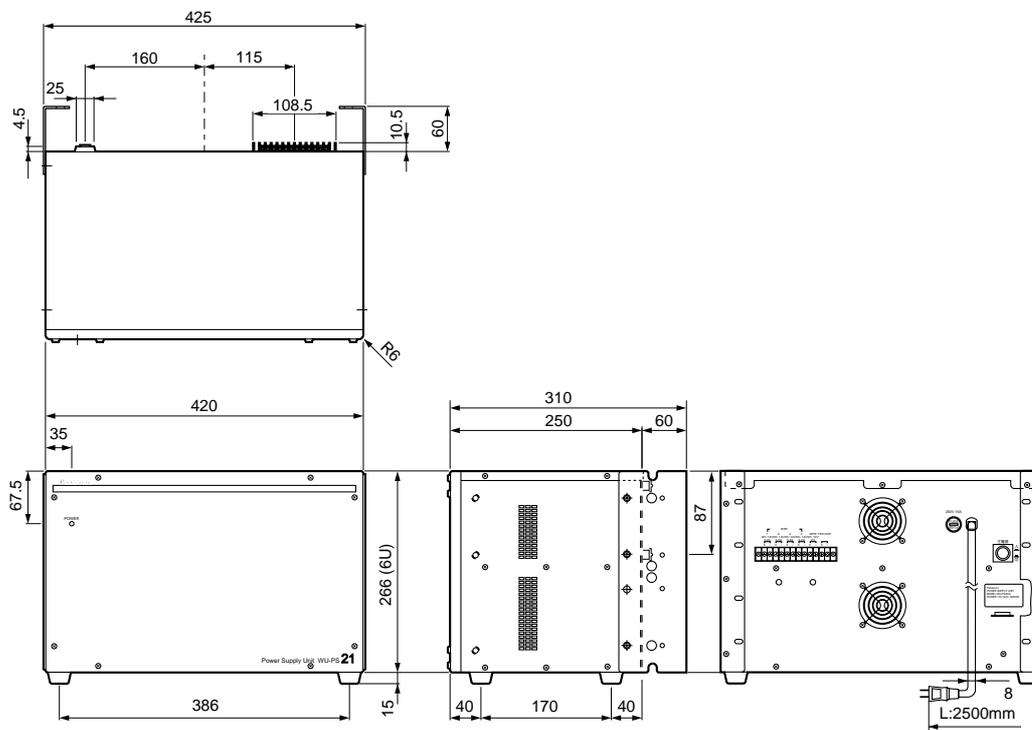
質 量 : 約19kg

仕 上 げ : AVアイボリー (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

付属品

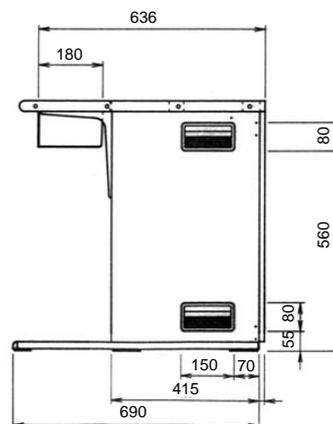
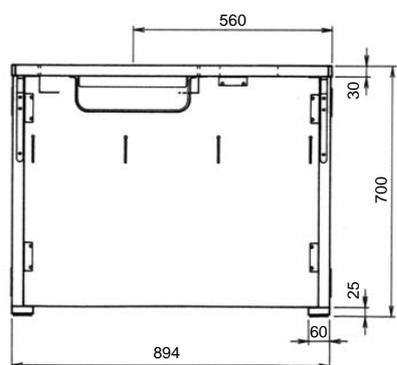
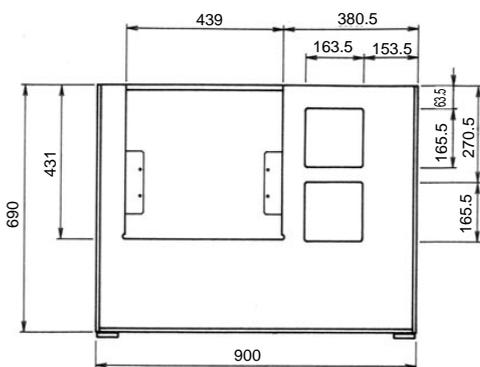
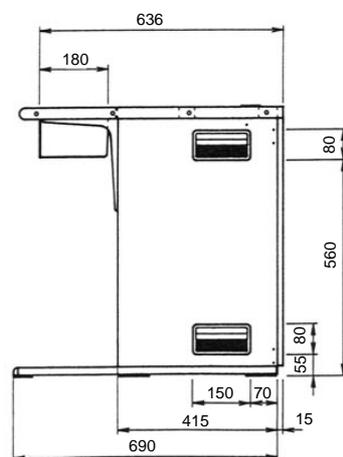
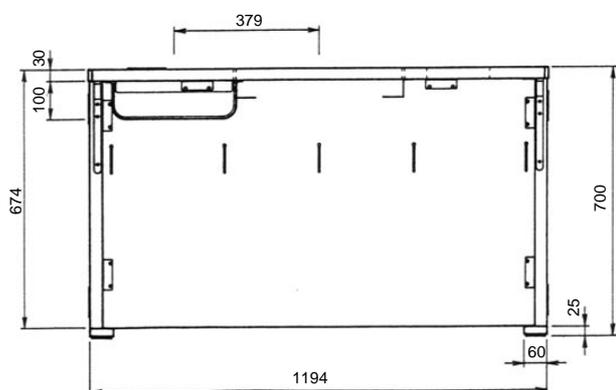
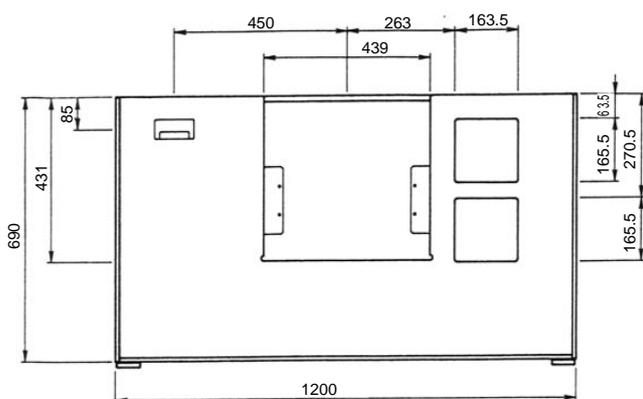
ヒューズ (8A)1

外観寸法図



マスター卓(LL 操作ユニット、マスターテープレコーダー用) 城下工業株式会社幹旋品

外観寸法図



WE-LL200 シリーズシステム構成

マスターテープレコーダーWE-LM20

定格

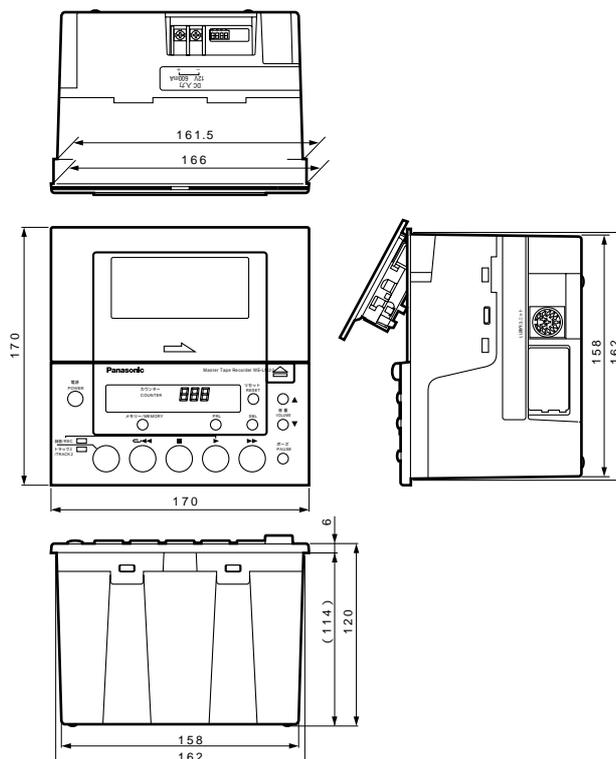
電 源 : DC12V
 消費電力 : 0.25W (スタンバイ時)
 4.1W (録音時)
 ライン入力 : -22dB 47k 以上
 (REC.IN) R(S)、L(T)
 ライン出力 : -10dB 100
 (PGM.OUT) R(S)、L(T)
 双方向制御ライン : 入力 正極性
 (D.SN) 出力 正極性
 (100 プルアップ)
 接続方式 : 共通線方式
 (アドレススイッチによる選択)
 周波数特性 : 63Hz~10kHz
 S / N : 50dB (A) 以上
 ひずみ率 : 2%以下 (315Hz再生時)
 録音方式 : 交流バイアス (145kHz)
 消去方式 : 交流消去
 音量切換 : 8ステップ切換
 トラック方式 : 4トラック2チャンネル

操 作 : 録音 (REC TRACK2)
 巻戻し (↶ / ◀◀) 再生 (▶) 早送り (▶▶) 停止 () ポーズ、
 1センテンス繰返し (SBL) 10回、パラ
 グラフリートリスン (PRL) 5回、メモリ
 ー、リセット、イジェクト、電源
 使用可能テープ : カセットテープ (C-30、46、60)
 モーター : キャプスタン (DCモーター)
 リール (DCモーター)
 テープスピード : 4.76cm / 秒
 ワウ・フラッター : 0.1%以下
 ヘッド構成 : 録音再生ヘッド1、消去ヘッド1
 寸 法 : 170(幅)×170(高さ)×120(奥行)mm
 奥行は、操作パネル面から底面
 までの寸法です。
 質 量 : 約1.8kg
 設 置 : 水平置き
 仕 上 げ : AVアイボリー
 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

付属品

MTRケーブル1

外観寸法図



ブーステープレコーダーWE-LB20A

定格

電 源 : DC12V
 消 費 電 力 : 0.25W (スタンバイ時)
 4.7W (PRAC時)
 HEADSET MIC : - 65dB 390
 (ECMマイクのみ)
 HEADSET PHONE : - 20dB 16
 双方向ライン
 プログラムライン : 入力 : - 26dB 100k 以上
 (PGM) 出力 : - 26dB 1k
 通 話 ラ イ ン : 入力 : - 22dB 100k 以上
 (COMM) 出力 : - 22dB 180
 制 御 ラ イ ン : 入力 : 正極性
 (D.SN) 出力 : 正極性
 (100 プルアップ)
 接 続 方 式 : 共通線方式
 (アドレススイッチによる選択)
 周 波 数 特 性 : 63Hz ~ 10kHz
 S / N : 50dB (A) 以上
 ひ ず み 率 : 2%以下 (315Hz再生時)
 録 音 方 式 : 交流バイアス (145kHz)
 消 去 方 式 : 交流消去
 音 量 切 換 : 8ステップ切換
 ト ラ ッ ク 方 式 : 4トラック2チャンネル

操 作 : 録音 (REC)、練習録音 (PRAC)
 巻戻し (↶ / ◀◀)、停止 ()
 再生 (▶) 早送り (▶▶)
 1センテンス繰返し (SBL) 10回、パラ
 グラフリピートリスン (PRL) 5回、トラッ
 ク切換 (T.S)、リセット、イジェ
 クト、電源、コール

使 用 テ ー プ : カセットテープ (C-30、46、60)
 モ ー タ ー : キャプスタン (DCモーター)
 リール (DCモーター)

テープスピード : 4.76cm / 秒

ワウ・フラッター : 0.1%以下

ヘ ッ ド 構 成 : 録音再生ヘッド1、消去ヘッド1
 寸 法 : 170(幅)×170(高さ)×120(奥行)mm

奥行は、操作パネル面から底面
 までの寸法です。

質 量 : 約1.8kg

設 置 : 水平置き

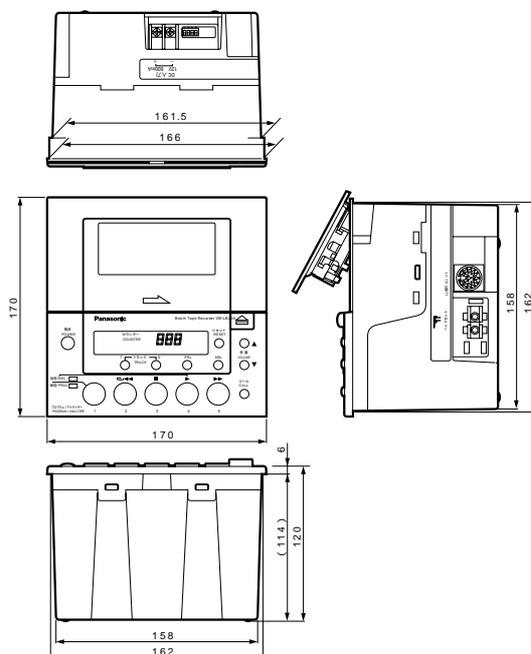
仕 上 げ : AVアイボリー

(マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

付属品

ヘッドセットプラグカバー1

外観寸法図



WE-LL200 シリーズシステム構成

マスターテープレコーダーWE-LM51

定格

<電気的特性>

電 源 : DC12 V
 消 費 電 力 : 0.5 W (スタンバイ時)
 6.0 W (録音時)

入力

ライン入力 (P G M) : - 22 dB 100 k 以上
 双方向制御ライン(D.SN) : 正極性

出力

ラ イ ン 出 力 : - 10 dB
 ハイインピーダンス(受け)
 双方向制御ライン(D.SN) :
 (100 プルアップ)

機械的特性

接 続 方 式 : 共通線方式
 (アドレススイッチによる選択)

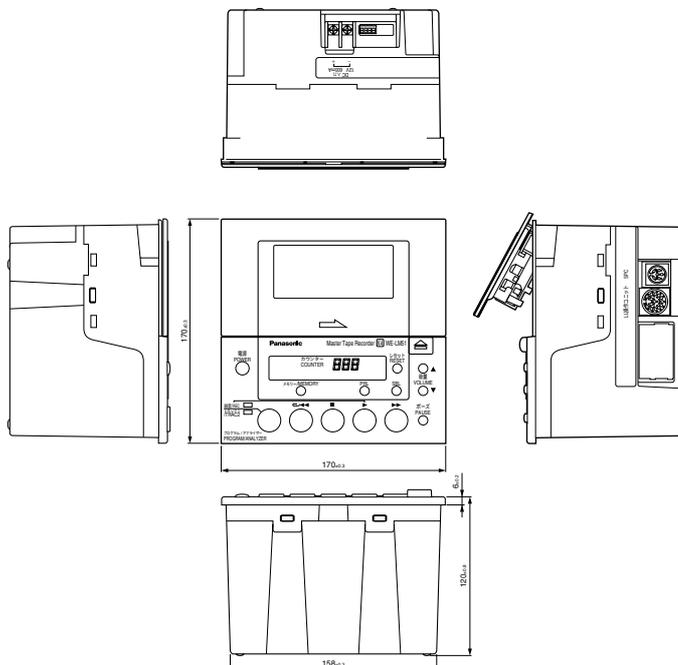
周 波 数 特 性 : 63 Hz ~ 10 kHz
 S / N : 50 dB (A) 以上
 ひ ず み 率 : 2 % 以下 (315 Hz再生時)
 録 音 方 式 : 交流バイアス (145 kHz)
 消 去 方 式 : 交流消去
 音 量 切 換 : 8ステップ切換
 ト ラ ッ ク 方 式 : 4トラック2チャンネル

操 作 : 録音 (REC BOTH / REC TRACK2)
 巻戻し (◀ / ◀◀) 停止 ()
 再生 (▶) 早送り (▶▶) 1セン
 テンス繰返し (SBL) 10回、パラグ
 ラフリピートリスン (PRL) 5回、メモ
 リー、リセット、イジェクト、電源
 使用テープ : カセットテープ (C-30、46、60)
 モ ー タ ー : キャプスタン (DDモーター)
 : リール (DCモーター)
 テープスピード : 4.76 cm / 秒 , 19.04 cm / 秒
 ワウ・フラッター : 0.1 % 以下
 ヘッド構成 : 録音再生ヘッド1、消去ヘッド1
 質 量 : 約 1.7 kg
 設 置 : 水平置き
 寸 法 : 170(幅) × 170(高さ) × 120(奥行) mm
 奥行は、操作パネル面から底面
 までの寸法です。
 仕 上 げ : AVアイボリー
 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

付属品

MTRケーブル1 MTR / SPCケーブル1

外観寸法図



ブーステープレコーダーWE-LB51

定格

<電気的特性>

電 源 : DC12 V (電源ユニットWU-PS20またはWU-PS21より供給)
 消費電力 : 0.5 W (スタンバイ時)
 7.0 W (PRAC時)
 質 量 : 約 1.7 kg
 設 置 : 水平置き
 寸 法 : 170(幅)×170(高さ)×120(奥行)mm
 奥行は、操作パネル面から底面までの寸法です。
 仕上げ : AVアイボリー
 (マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

入力(双方向ライン入力)

プログラムライン(PGM) : -26 dB 100 k 以上
 通話ライン(COMM) : -22 dB 100 k 以上
 制御ライン(D.SN) : 正極性
 HEADSET MIC : -62 dB 390
 (ECMマイクのみ)
 HEADSET PHONE(L,R) : -20 dB 32

出力(双方向ライン出力)

プログラムライン(PGM) : -26 dB 1 k
 通話ライン(COMM) : -22 dB 180
 制御ライン(D.SN) : 正極性
 (100 プルアップ)

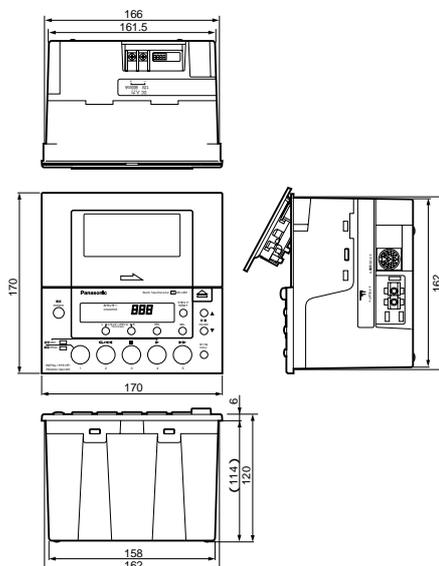
<機械的特性>

接 続 方 式 : 共通線方式
 (アドレススイッチによる選択)
 周 波 数 特 性 : 63 Hz ~ 10 kHz
 S / N : 50 dB (A) 以上
 ひ ず み 率 : 2 % 以下 (315 Hz再生時)
 録 音 方 式 : 交流バイアス (145 kHz)
 消 去 方 式 : 交流消去
 音 量 切 替 : 8ステップ切替
 トラック方式 : 4トラック2チャンネル
 操 作 : 録音 (REC)、練習録 (PRAC)、
 巻戻し (↶ / ◀)、停止
 (⏹)、再生 (▶)、早送り
 (▶▶)、1センテンス繰返し
 (SBL) 10回、パラグラフリピ
 ートリスン (PRL) 5回、
 トラック/バランス (L,R)、
 リセット、イジェクト、電源、
 コール
 使用テープ : カセットテープ (C-30、46、60)
 モーター : キャプスタン (DDモーター)
 リール (DCモーター)
 テープスピード : 4.76 cm / 秒、19.04 cm / 秒
 ワウ・フラッター : 0.1 % 以下
 ヘッド構成 : 録音再生ヘッド1、消去ヘッド1

付属品

ヘッドセットプラグカバー 1

外観寸法図



WE-LL200 シリーズシステム構成

ブース卓(モニター無し)WE-L150A

定格

寸法	: 1,390(幅)×725(高さ)×470(奥行)mm	仕上げ	: テーブル: OA アイボリーメラミン樹脂仕上げ (マンセル 6.5Y7.8/0.9 近似色)
質量	: 約 24.50	背面	: OA アイボリー塩ビシート仕上げ
材質	: パーチクルボード、鋼板	脚	: OA アイボリー塗装

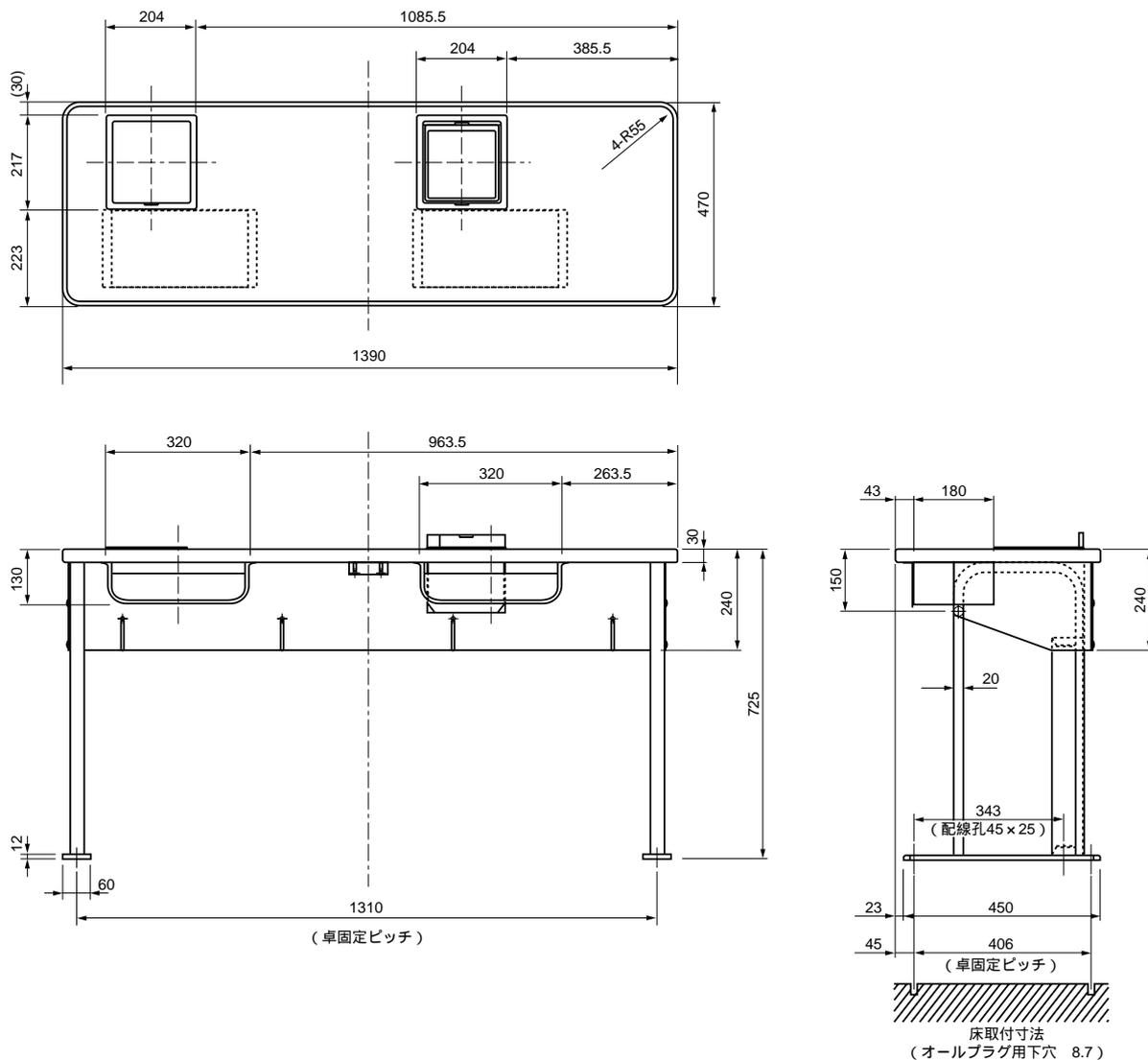
構成部品

テーブル1	脚(左・右)各 1
背板1	側板(左・右)各 1

付属品

飾りねじ(側板用 M4×11)2	コードクランパー4
飾りねじ(背板用 M4×25)4	固定ねじ(コードクランパー用 4×12)4
固定ねじ(テーブル、脚用 M5×35)6	床固定木ねじ(5.8×32)4
ねじキャップ6		
オールプラグ(#14×32)4		

外観寸法図



ブース卓(10型モニターテレビ用)WE-L151A

定格

寸法 : 1,390(幅) × 725(高さ) × 470(奥行)mm 仕上げ : テーブル : OA アイボリーメラミン樹脂仕上げ
 質量 : 約 320 (マンセル 6.5Y7.8/0.9 近似色)
 材質 : パーチクルボード、鋼板 背面 : OA アイボリー塩ビシート仕上げ
 脚 : OA アイボリー塗装

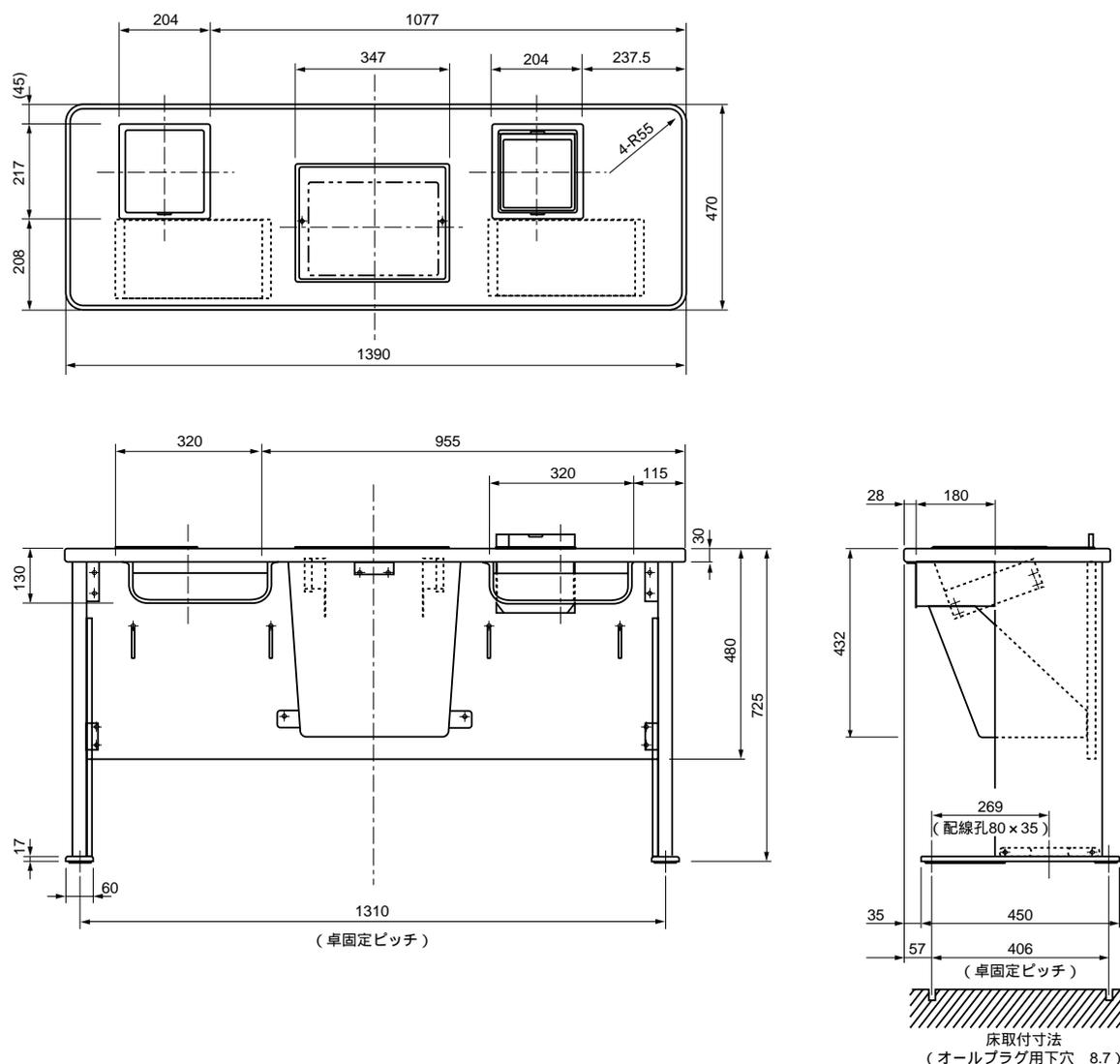
構成部品

ブース卓本体 1
 脚(左・右) 各 1

付属品

固定ねじ(テーブル、脚用 M4 × 8) 12 床固定木ねじ(5.8 × 38) 4
 固定ねじ(コードランパー用、 4 × 12) 4 固定ねじ(モニター取付用 M3 × 8) 4
 コードランパー 4 モニター取付金具A・B(左・右) 各 1
 オールプラグ(#14 × 32) 4

外観寸法図



WE-LL200 シリーズシステム構成

ブース卓(14型モニターテレビ用)WE-L152A

定格

寸法 : 1,490(幅) × 725(高さ) × 570(奥行)mm 仕上げ : テーブル : OA アイボリーメラミン樹脂仕上げ
 質量 : 約 370 (マンセル 6.5Y7.8/0.9 近似色)
 材質 : パーチクルボード、鋼板 背面 : OA アイボリー塩ビシート仕上げ
 脚 : OA アイボリー塗装

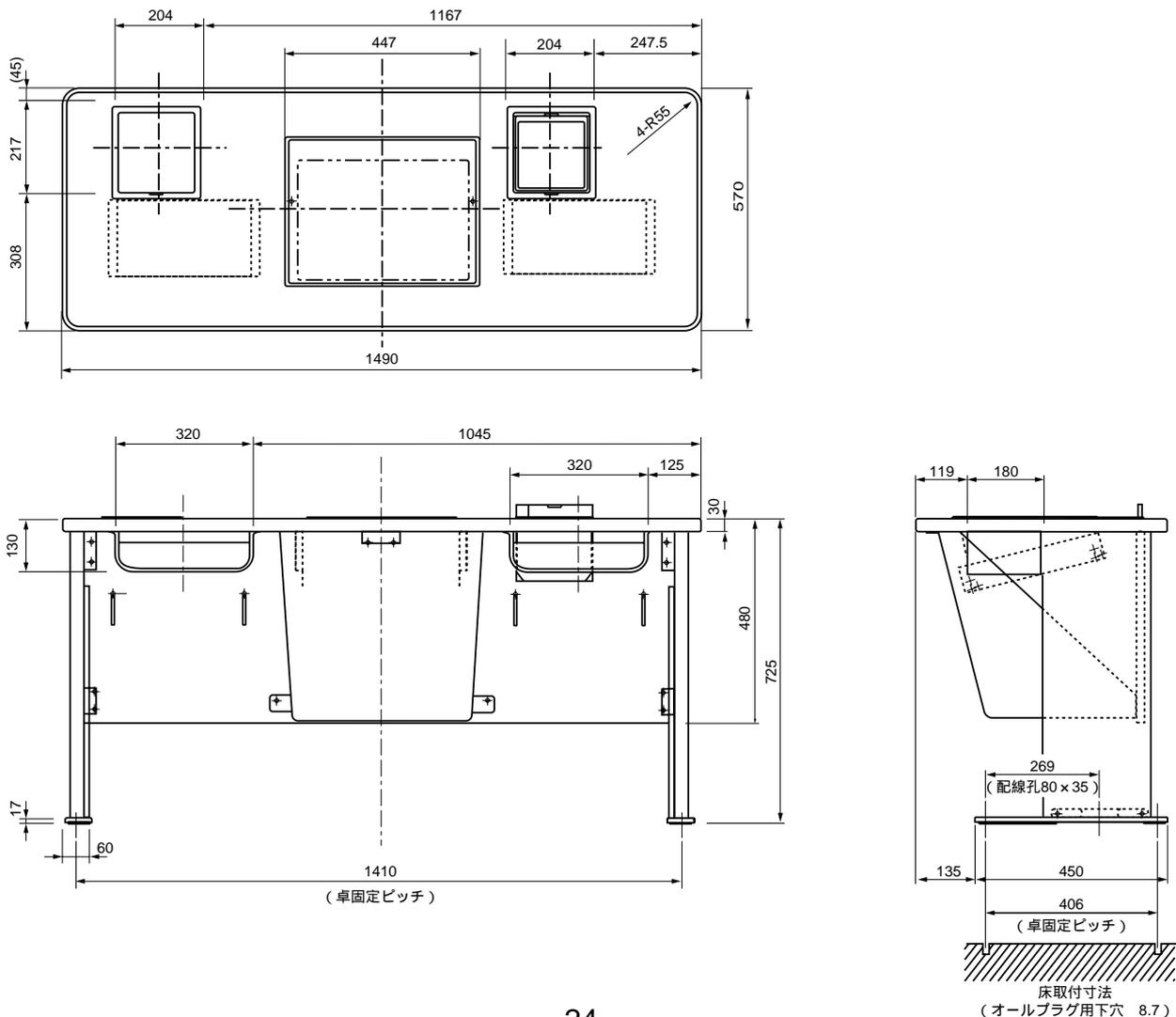
構成部品

ブース卓本体 1
 脚(左・右) 各 1

付属品

固定ねじ(テーブル、脚用 M4 × 8) 12
 コードクランパー 4
 固定ねじ(コードクランパー用、4 × 12) 4
 オールプラグ(#14 × 32) 4
 床固定木ねじ(5.8 × 38) 4
 固定ねじ(モニター取付用 M4 × 10) 4
 モニター取付金具 A・B(左・右) 各 1

外観寸法図



ヘッドセット WE-HS10

定格

ヘッドホン部

形式 : ムービングコイル形
インピーダンス : 16 (1kHz)
定格入力 : 1mW
出力音圧レベル : 96dB (600Hz、2mW)
±6dB

マイクロホン部

形式 : エレクトレットコンデンサ
出力インピーダンス : 1.8k (1kHz)

感度 : -81dB (1kHz)
指向性 : マイクユニット単一指向性

総合

プラグコード : コード長さ約 1.7m (カール部含む)
プラグ (M3 ミニプラグ)

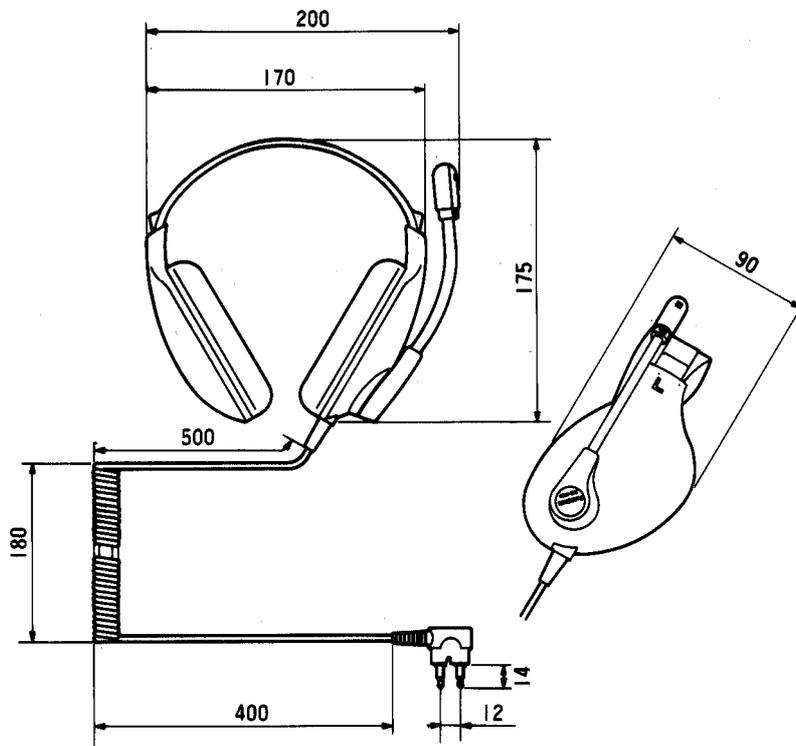
質量

: 約 230N

寸法

: 外観寸法図による

外観寸法図

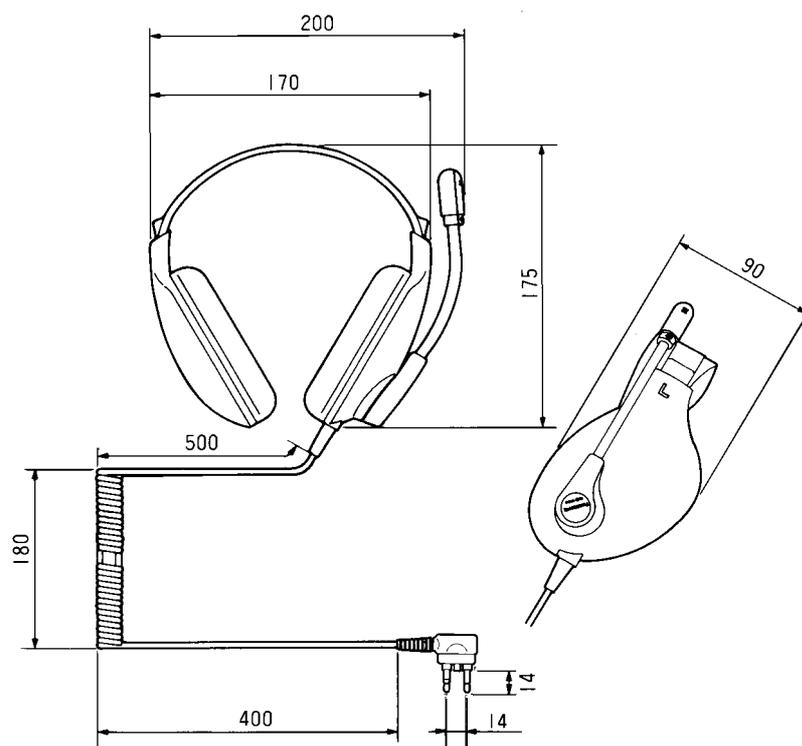


WE-LL200 シリーズシステム構成

ヘッドセット WE-HS21

定格	
ヘッドホン部	感度 : -72dB (1 kHz)
形式 : ムービングコイル形	指向性 : マイクロユニット単一指向性
インピーダンス : 32 (1kHz) × 2	総合
定格入力 : 0.5mW × 2	プラグコード : コード長さ約 1.7m (カール部含む)
出力音圧レベル : 96dB (600Hz、2mW) ± 6dB	プラグ (M3 ミニプラグ)
マイクロホン部	質量 : 約 230N
形式 : エレクトレットコンデンサ	寸法 : 外観寸法図による
出力インピーダンス : 1.8k (1 kHz)	

外観寸法図



袖卓 WE-L190

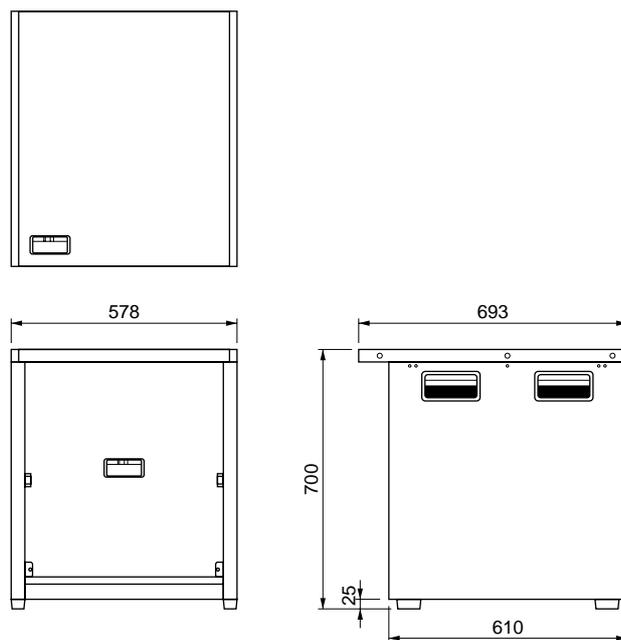
定格

寸法：578(幅)×700(高さ)×693(奥行)mm
質量：約270
仕上げ：天板：OA アイボリー色メラミン化粧板貼付(マンセル8.0Y7.8/0.8近似色)
卓本体：鉄板焼き付け塗装 マンセル8.0Y7.8/0.8近似色

別売品

- ・側板ユニット.....WE-L192(拡張用)
- ・棚板ユニット.....WE-L195(2枚組)
- ・収納ラック.....WE-L198(鍵付き)
- ・袖卓用ラックアングル.....WE-Q08(13U)
- ・扉.....WE-L196(鍵付き)
- ・キャスターユニット.....WE-L197(4個1組)
- ・コーナー天板60.....WU-L210A
- ・コーナー天板90.....WU-L220A
- ・60コーナーリアパネル.....W2-EP/L210

外観寸法図



WE-LL200A シリーズシステム構成

60 コーナー天板 WU-L210A

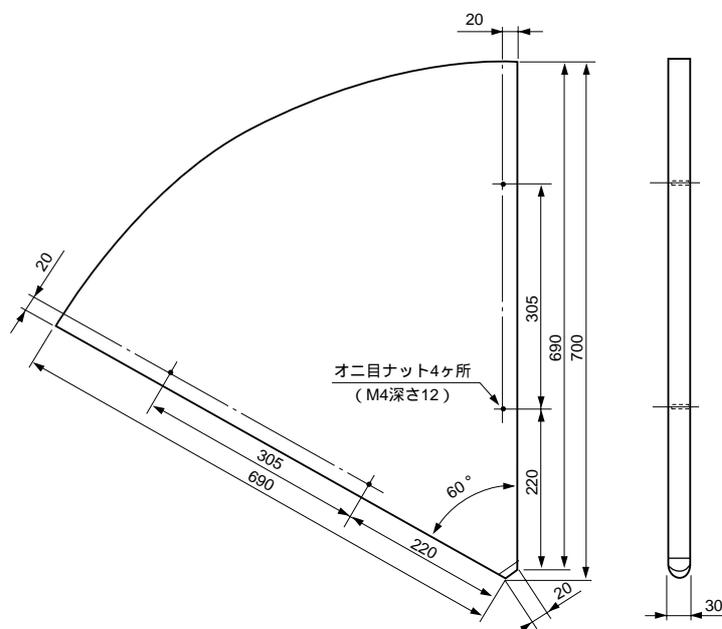
定格

寸法 : 700(幅)×30(高さ)×約610(奥行)mm
質量 : 約60
仕上げ : OA アイボリーメラミン化粧板貼り (マンセル6.5Y7.8 / 0.9近似色)

付属品

取付アングル 3種 束線材 5
取付ねじ (M4 × 8) 11

外観寸法図



90 コーナー天板 WU-L220A

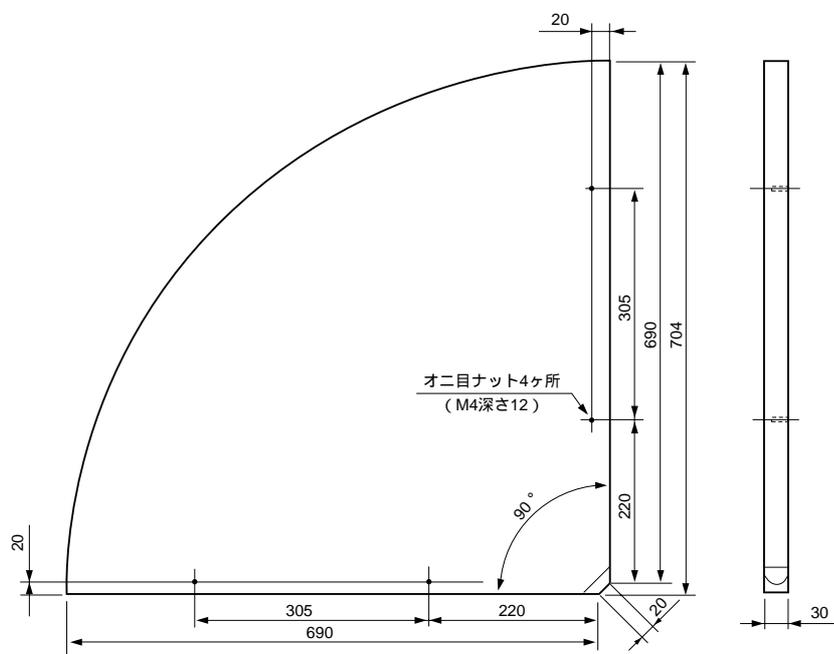
定格

寸法 : 704 (幅) × 30 (高さ) × 704 (奥行) mm
質量 : 約80
仕上げ : OA アイボリーメラミン化粧板貼り (マンセル6.5Y7.8 / 0.9近似色)

付属品

取付アングル 3種 束線材 5
取付ねじ (M4 × 8) 11

外観寸法図



WE-LL200A シリーズシステム構成

60 コーナー用リアーパネル W2-EP/L210

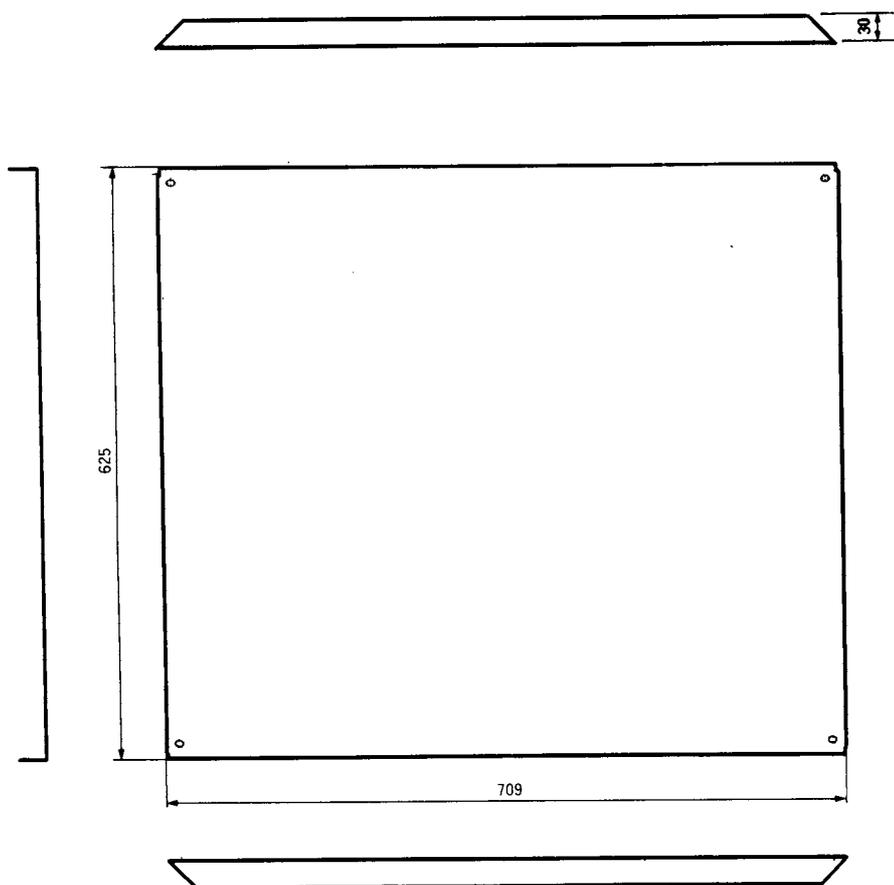
定格

寸法 : 709(幅) × 625(高さ) × 30(奥行)mm 仕上げ : OA アイボリーエリオ鋼板
質量 : 約 50 (マンセル 8.0Y7.8/0.8 近似色)

付属品

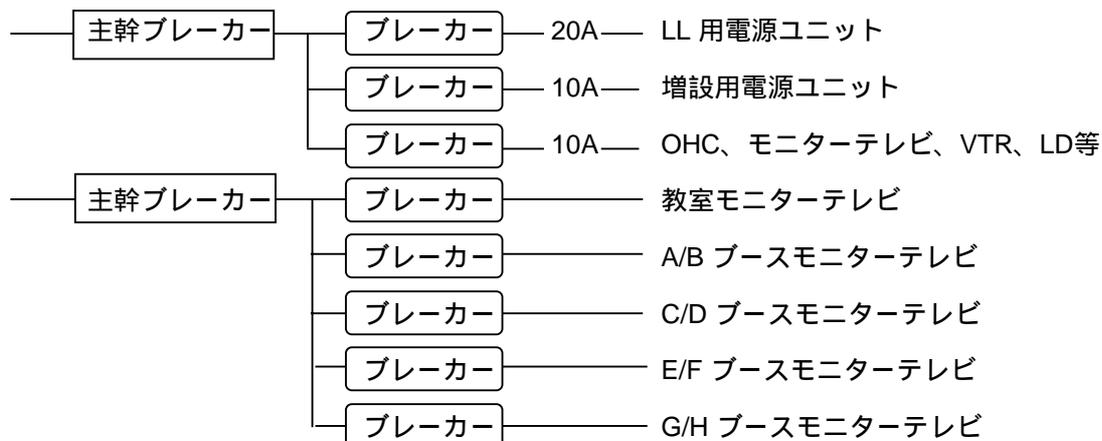
取付ねじ (M4 × 8)11 取付アングル B (左取付用・右取付用)各 1
取付アングル A (左取付用・右取付用)各 1 取付アングル C.....2

外観寸法図



電源(AC100V)の配線

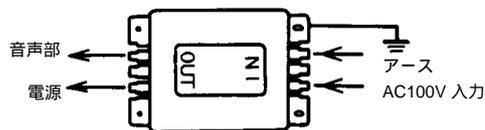
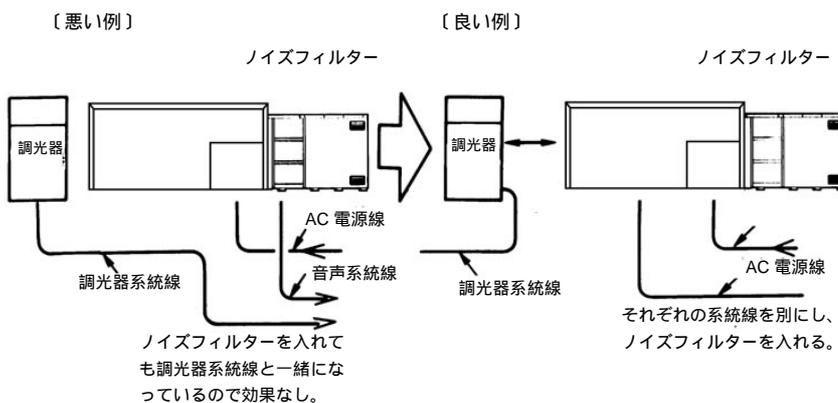
標準的な設置例



- LL 操作ユニット、LL 用電源ユニット、増設用電源ユニットはモニターテレビからのノイズ対策のため接地工事をしてください。
- ブースモニターテレビの電源は幹線を分けてください。
- ブースモニターテレビのラインのブレーカー容量はブースモニターテレビにより計算してください。
- 漏電ブレーカーを使用される場合は、機器によりリーク電流が異なりますので、ご注意ください。
- 一斉に電源を投入しますと突入電流でブレーカーが焼き付いたり電圧効果でほかの機器が誤動作することがあります。
- モニターテレビの電源投入後、LL 機器の電源を投入してください。

電源ノイズの対策

- ノイズ源となるようなものに供給している AC コンセントからできる限り離れた AC コンセントより供給してください。
- LL 本体の LL 幹線系統線、映像線は調光器、水銀灯、水銀灯スイッチなどの系統線とは別にしてください。
- LL 本体への AC 電源線にノイズフィルターを接続します。
- ノイズフィルター紹介
松下電子部品株式会社
変成器事業部扱い
EUL-NGB5B1(5A).....PA120W まで
EUL-NGB10B1(10A).....PA120W ~ 360W まで
EUL-NGB30A1(30A)
(販売店にご相談ください)

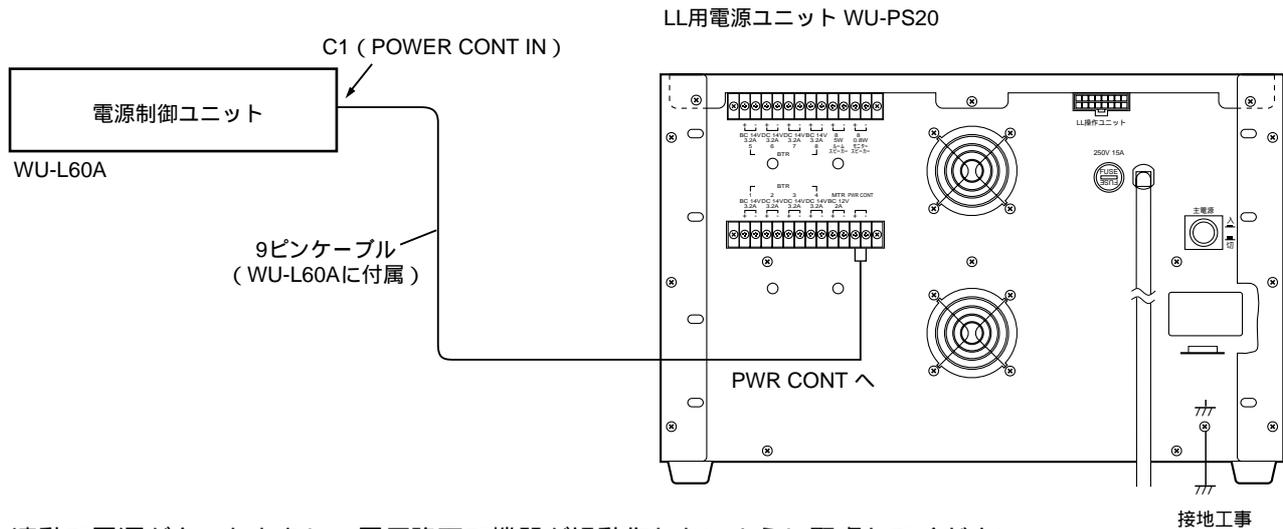


電源(AC100V)の配線

LL 操作ユニット、LL用電源ユニット、増設用電源ユニットの接地
接地端子(E)に接地工事をしてください。

連動コンセントが必要なとき

電源制御ユニット WU-L60A を別に設置してください。



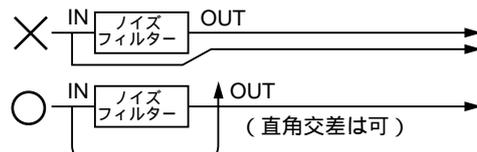
連動で電源が入ったときに、電圧降下で機器が誤動作しないように配慮してください。

- ・ 幹線を分ける。
- ・ 新しく電源線を教室内に引き込む。

ブース用モニターテレビの電源配線について

ご注意

- ・ 雑音混入防止のため必要に応じてノイズフィルターを配電盤内に設置してください。
- ・ ノイズフィルターと本体は必ずアース工事をしてください。
- ・ 同じ室内に調光器を使用しないでください。
- ・ ノイズフィルターの電源入力側の線と電源出力側の線を束ねたり平行にしないでください。
- ・ モニターテレビを使用する場合と使用しない場合は電源配線が異なります。



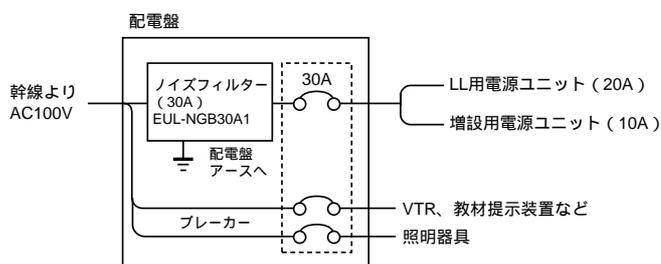
モニターテレビを使用しない場合

VTR、教材提示装置などと照明器具はノイズフィルターの入力側に接続してください。

モニターテレビを使用する場合

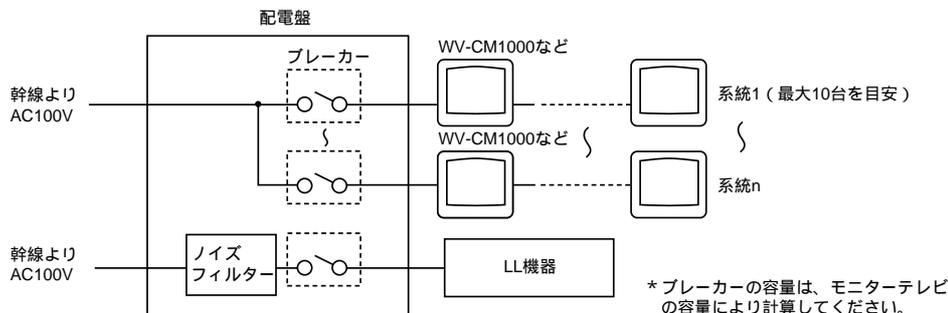
各ブースにモニターテレビを設置した場合、一斉に電源投入しますと突入電流によりブレーカーが焼き付いたり、電圧降下により他の機器を誤動作させることがあります。

工事の設計・施工や操作上、次の点に注意を払ってください。



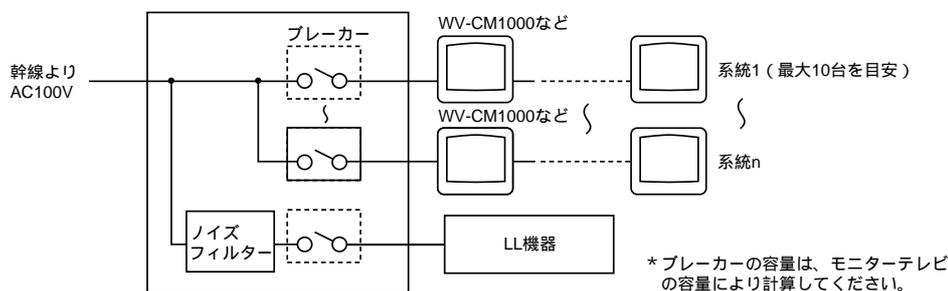
1. 電源容量の確保と系統分け

新設のとき



- ・ LL 機器とモニターテレビの電源を別の系統から引いてください。
- ・ ブース用モニターテレビは1系統 10 台を目安にブレーカーを設けてください。

既設のとき (止むを得ず一つの電源ラインしかないとき)



- ・ 新設のときと同様にブレーカーの設置が必要です。
- ・ 幹線容量は突入電流を含めて余裕をもたせてください。

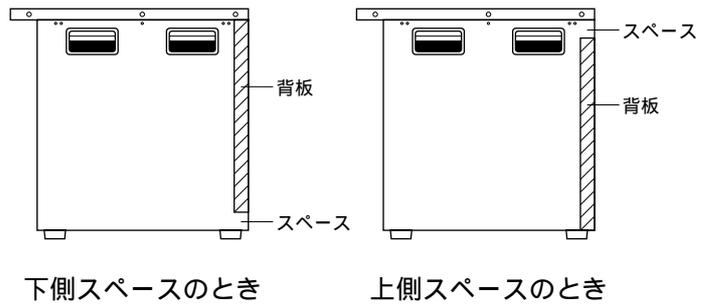
2. 電源投入順序

- ・ モニターテレビの電源投入 (系統ごと) 後、LL 機器の電源を投入してください。
- LL 機器を使用中にモニターテレビの電源投入をしないでください。
- 特に既設の場合には LL 機器が誤動作することがあります。

袖卓の組立とコーナー天板の取り付け

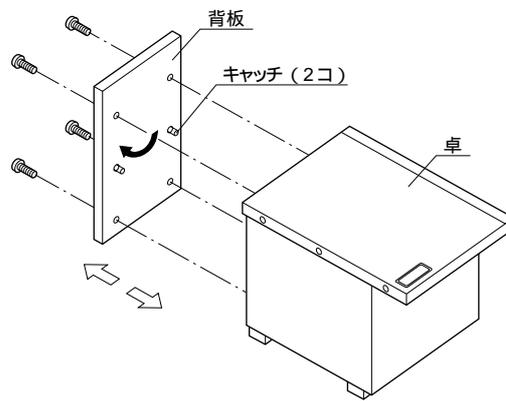
袖卓WE-L190の背板の取り付け
 背板は上下を逆に取り付けることでスペース（約25mm）が背板の上側（テーブル面近く）または下側に来るように選択できます。

下側スペース外観重視のとき
 上側スペース工場出荷状態、通風重視のとき
 ケーブルを通すとき



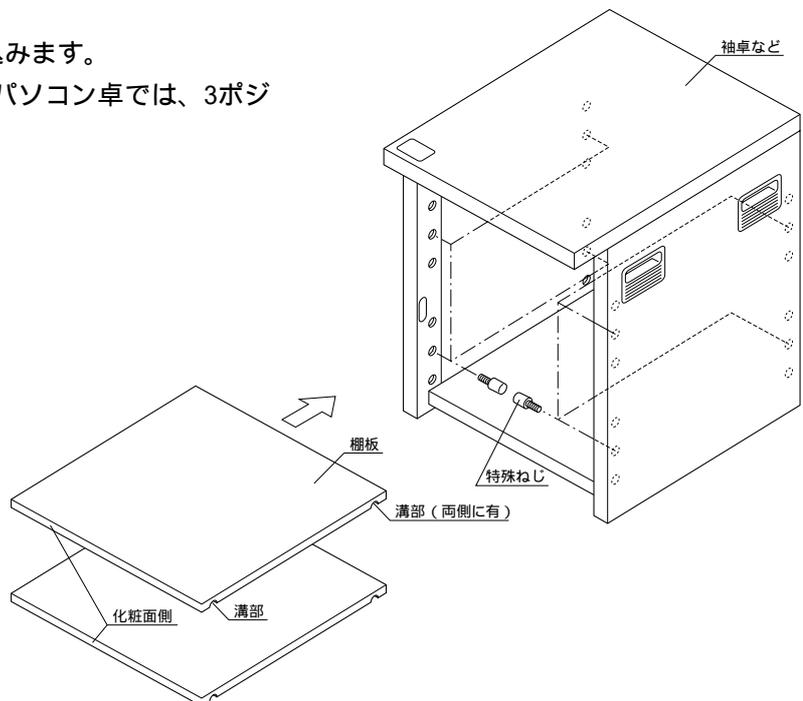
背板の付け替えかた

背板の固定ねじ（4本）を外します。
 キャッチで仮止めされている背板を引いて卓から取り外します。
 背板の上下を逆にします。
 背板を取り付け位置に押し込みます。
 （キャッチで仮止めされます。）
 固定ねじ（4本）で止めます。



棚板WE-L195の取り付け

棚板（WE-L195）付属の特殊ねじ（8本）を棚板の高さに合わせて取り付けます。
 棚板の溝部を特殊ねじに合わせてはめ込みます。
 棚板取付位置は袖卓では5ポジション、パソコン卓では、3ポジション選択できます。

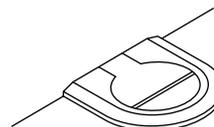


天板の通線孔について

ケーブルの多さで使い分けてください。

ケーブルがないとき

ふたをした状態にします。



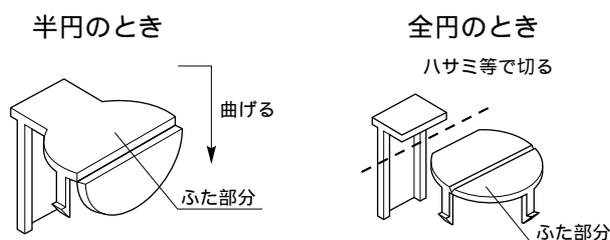
ケーブルが少ないとき（半円の通気孔）

ふたを取り出します。

テーブルを通します。

ふたの中央を下に曲げます。

ふたをします。



ケーブルが多いとき（全円の通気孔）

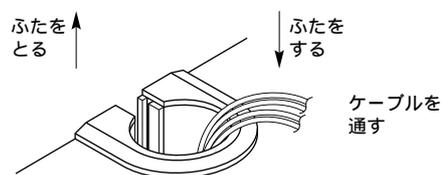
ふたを取り出します。

テーブルを通します。

ふた部分をはさみ等で切り取ります。

ふた（切取った残り）をします。

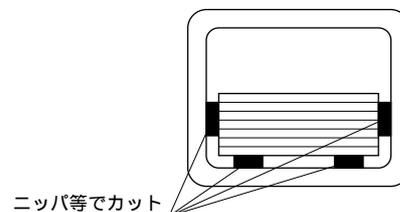
切取ったふたは保管して、必要になったときに使用してください。



側板の通線孔について

側板の把手は、卓を連続して並べるときなど、通線孔としても使用できます。

右図の4ヶ所のつなぎ目をニッパ等で切り話して孔を開けます。

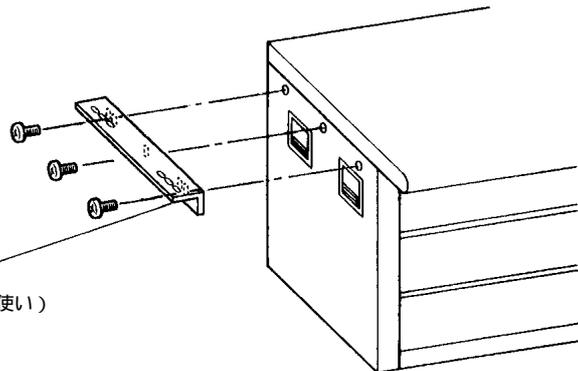
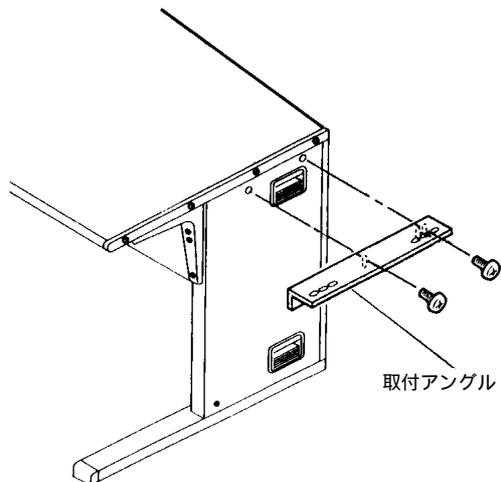


袖卓の組立とコーナー天板の取り付け

コーナー天板 WU-L210A、WU-L220A の取り付けかた

操作卓側面に取付アングルを取り付けます。

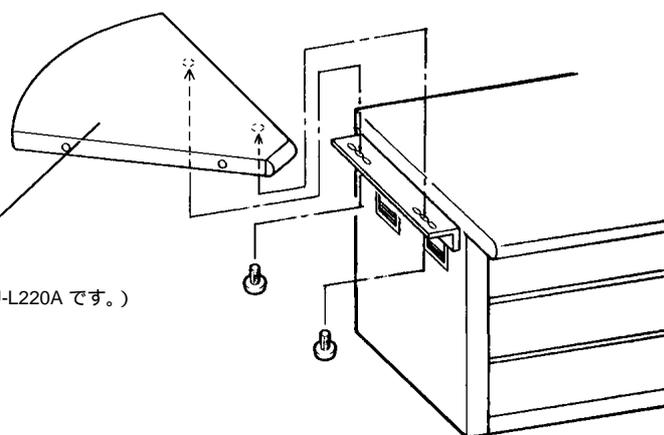
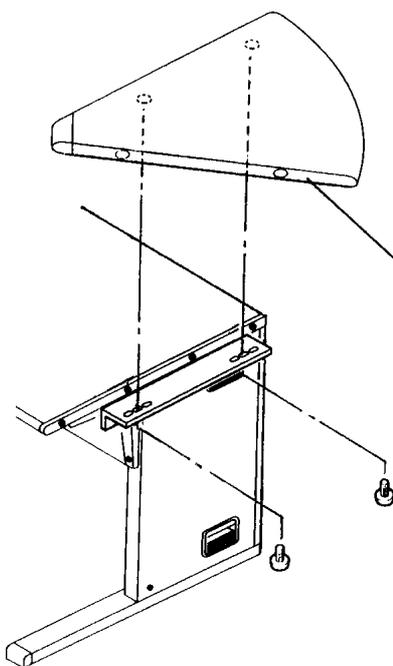
袖卓側面に取付アングルを取り付けます。



取付アングル (共通 2 個使い)

下から天板をねじ止めします。

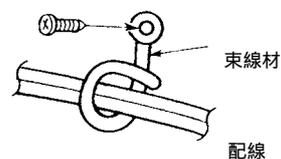
操作卓と結合し、下からねじ止めします。



コーナー天板
(イラストは WU-L220A です。)

配線コードは束線材 (付属品) で所々クランプしてください。

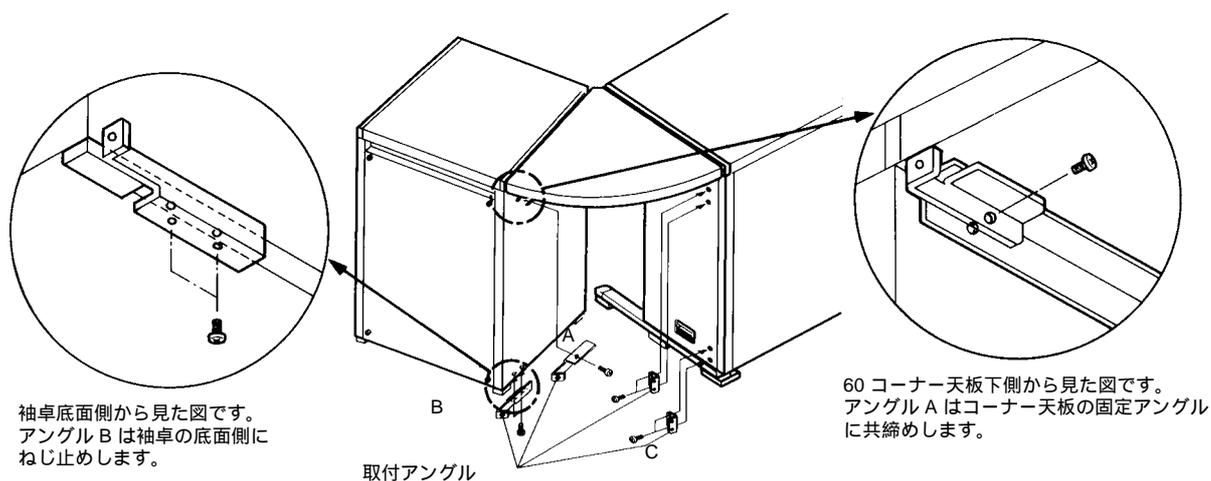
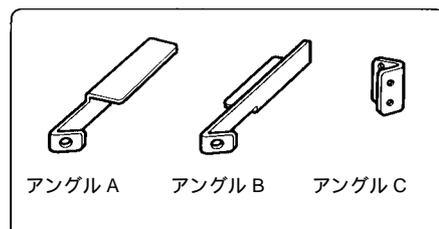
木ねじ (別売)



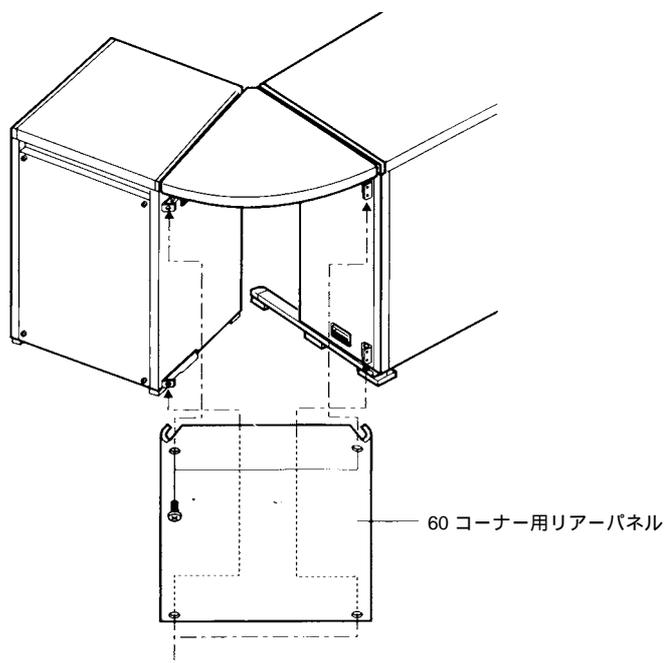
60 コーナー用リアパネル W2-EP/L210 の取り付けかた

操作卓側面、袖卓側面に取付アングルを取り付けます。

本図と反対側に取り付ける場合、アングル A、
アングル B は図と対称形状のものを使用します。



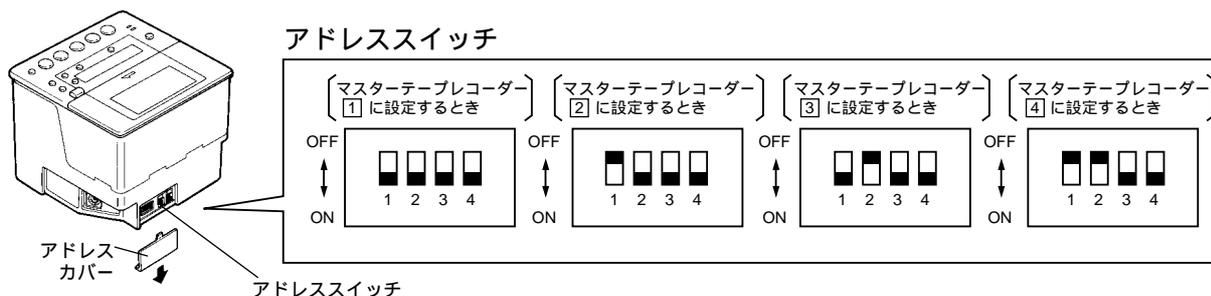
背面からリアパネルをねじ止めします。



マスターテープレコーダーの接続

取り付け、接続の前に

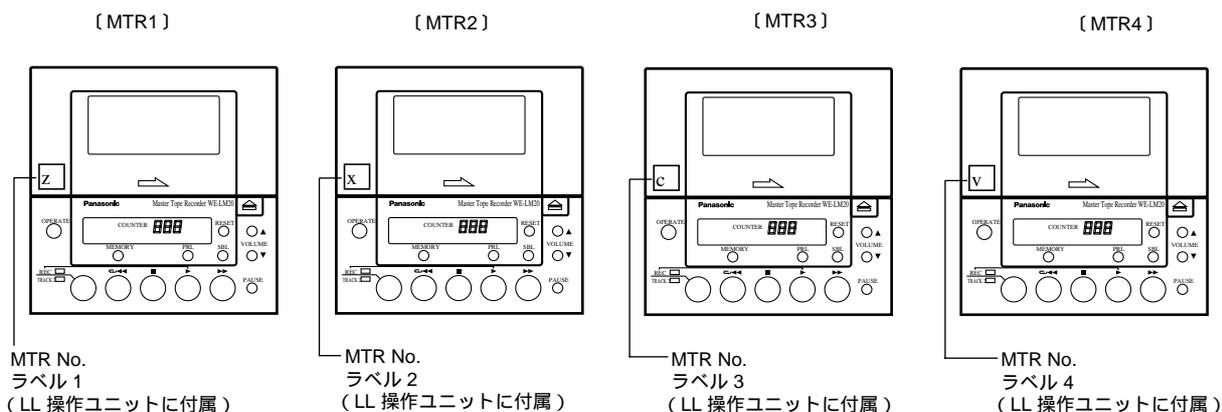
マスターテープレコーダーの奥面にあるアドレススイッチを図のように設定します。



ご注意

アドレス設定は必ず電源ユニットの電源を切ってから行ってください。

設定後、MTR No.ラベル1~4（LL 操作ユニットに付属）をマスターテープレコーダー1~4にそれぞれ貼り付けます。



ケーブルの配線

システム接続図を参照（6,7ページ）してください。

* : MTRケーブルのMTR側の接続はマスター卓に収納してから行ってください。

スピードコントロールユニットの接続

下記の手順でスピードコントロールスイッチパネル、メインボードを取り付けます。

お願い

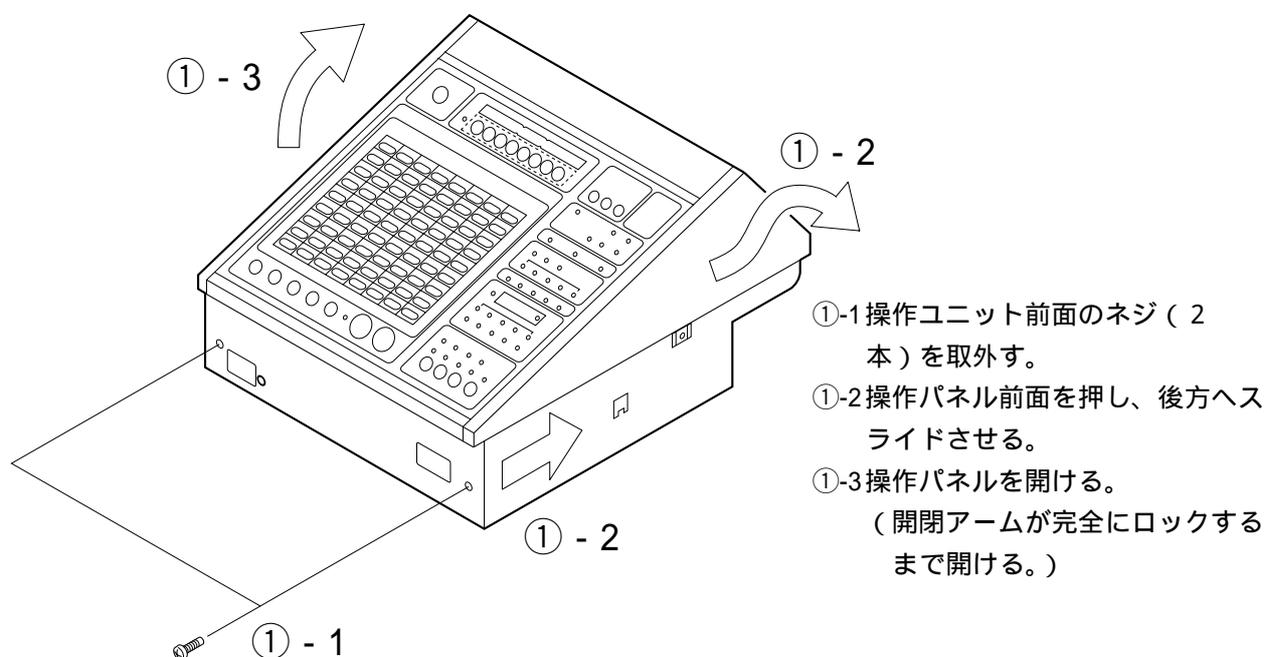
静電気による破損を防止するために、次のことを必ずお守りください。

- 作業を始める前にラックなどの金属部に手をふれ、人体に帯電している静電気を放電してください。
- メインボードは取り付ける直前まで袋から取り出さないでください。
- メインボードを取り扱う際は、露出した回路部にふれないようにボードの端を持ってください。

スピードコントロールスイッチパネルを取り付ける

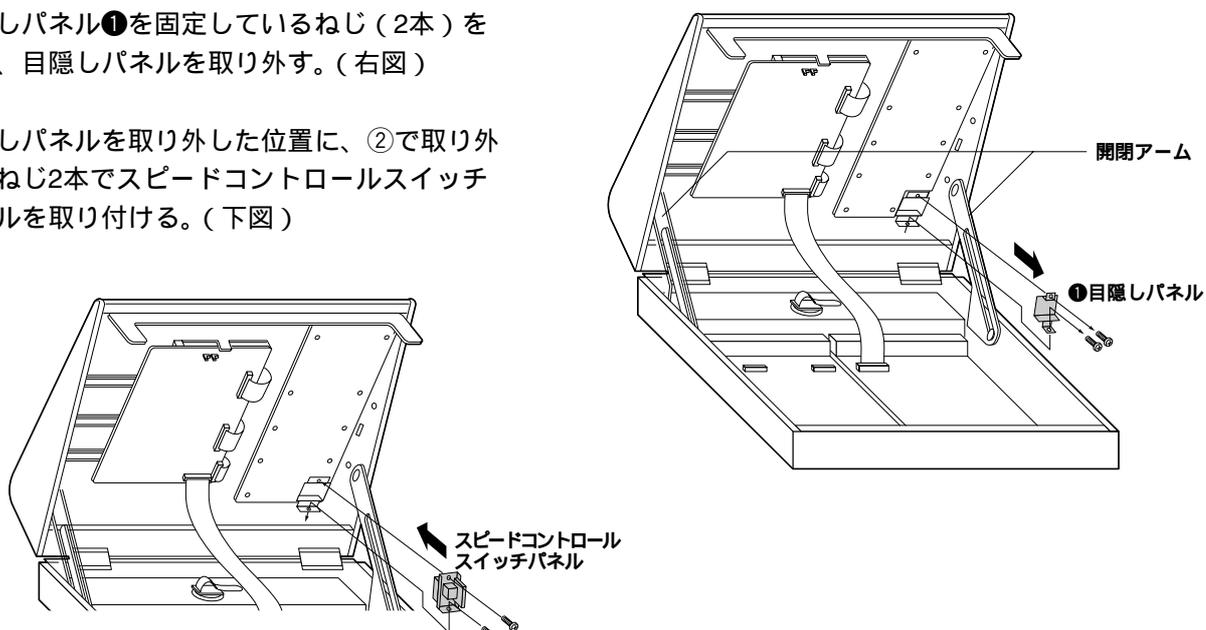
①LL操作ユニットの操作パネルを開ける。

操作パネルの開け方



②目隠しパネル①を固定しているねじ（2本）を外し、目隠しパネルを取り外す。（右図）

③目隠しパネルを取り外した位置に、②で取り外したねじ2本でスピードコントロールスイッチパネルを取り付ける。（下図）

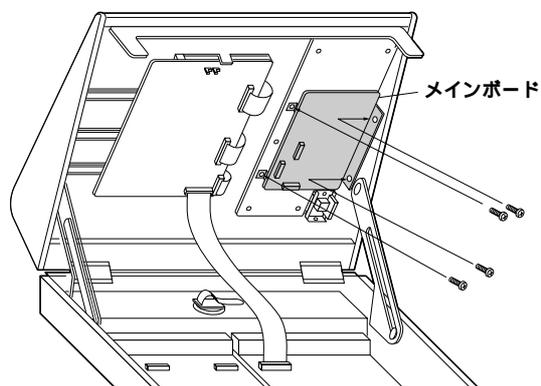
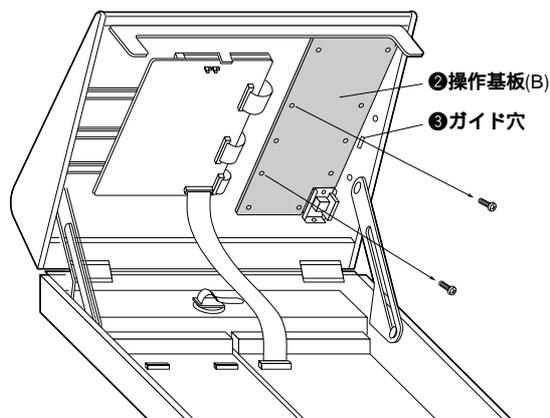
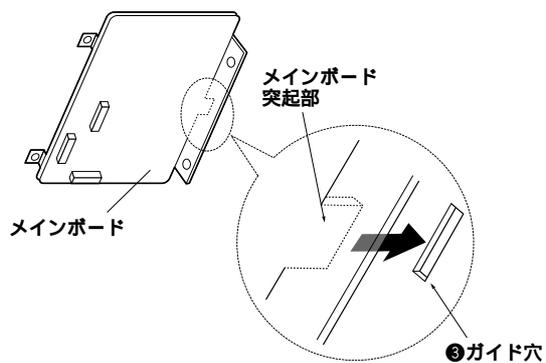


操作基板 (B) にメインボードを取り付ける

- ④ 操作基板 (B) ② を取り付けられているねじ2本を取り外す。

注：操作基板 (B) は取り付けたままです。

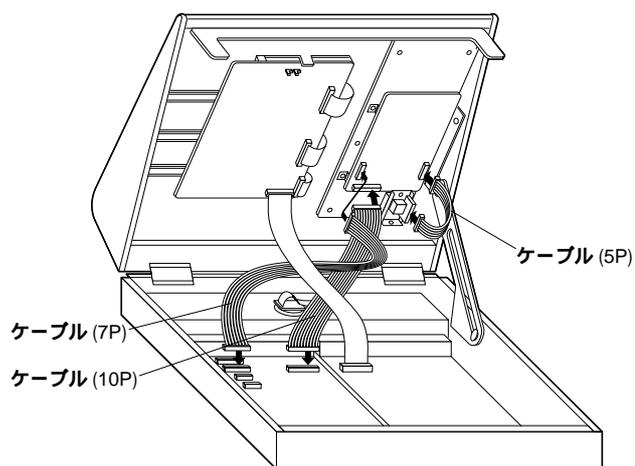
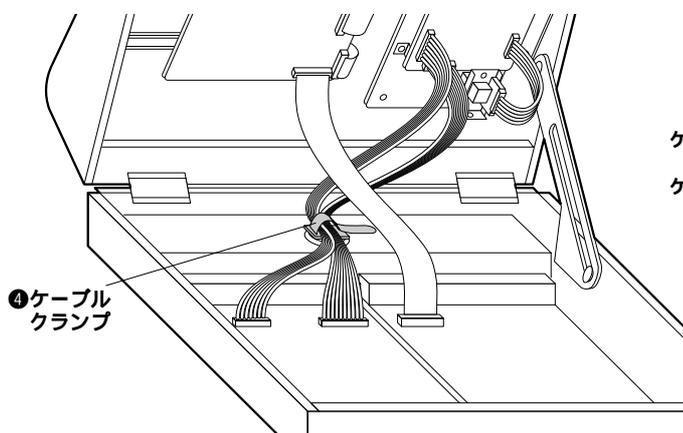
- ⑤ メインボードの突起部を操作パネル右側面のガイド穴 ③ にはめ込み、④ で外したねじ2本と付属のねじ2本で固定する。



ケーブルを取り付ける

- ⑦ 付属のケーブル3本を右図のように取り付ける。

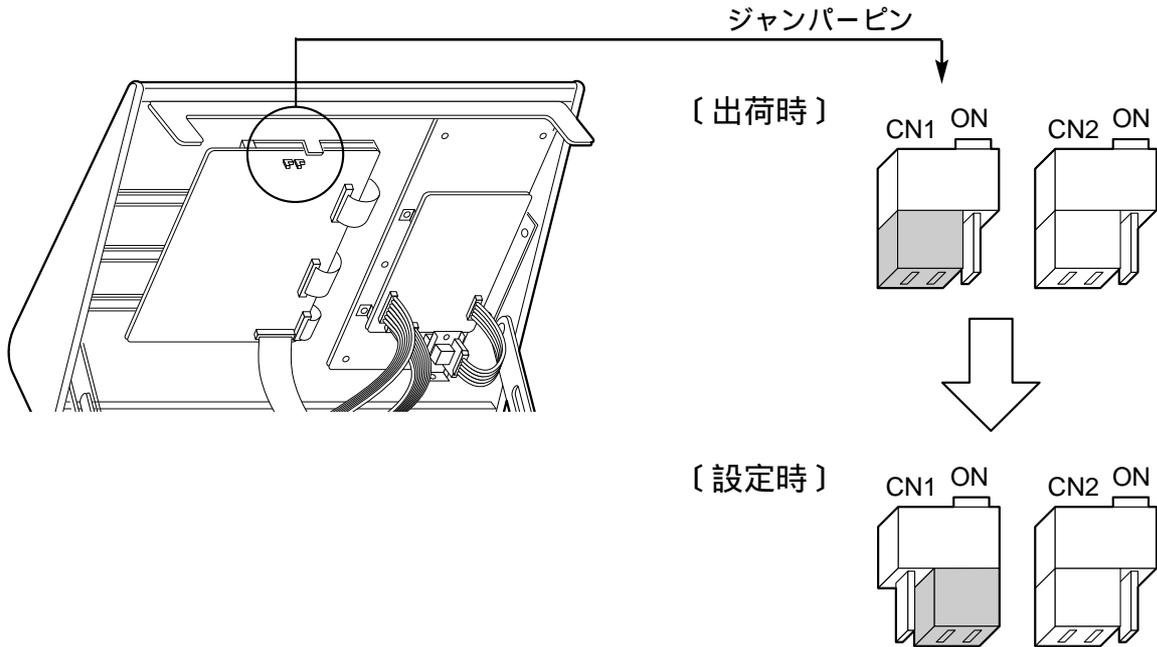
- ⑧ 7ピンケーブルと、10ピンケーブルをコードクランプ ④ に束ねる。



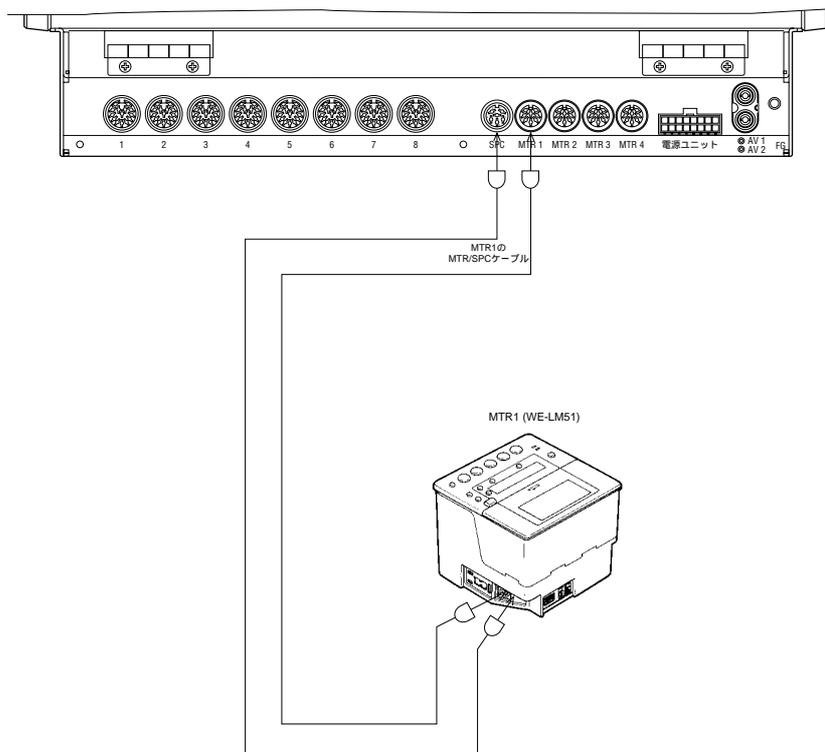
スピードコントロールユニットの接続

ジャンパーピンを設定する

- ⑨CN1のジャンパーピンを右図のように変更する（ONにする）。



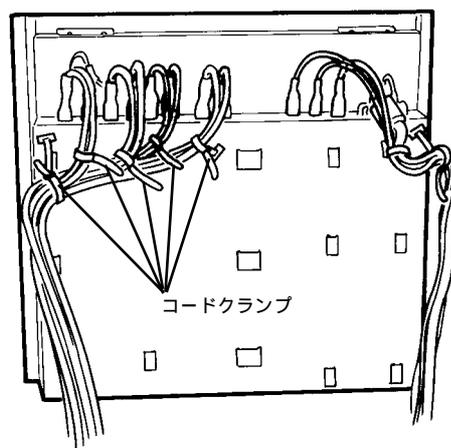
MTR1とスピードコントロールユニットの接続



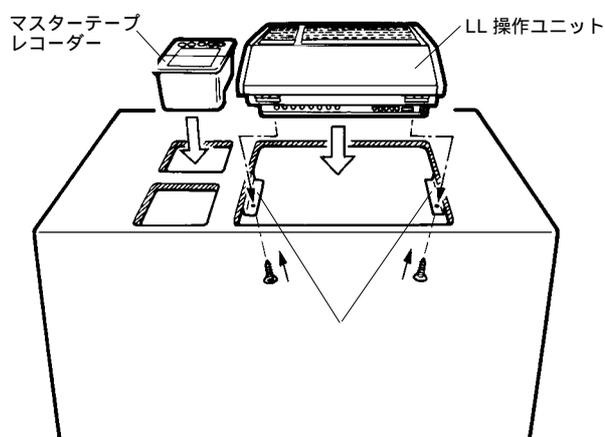
LL操作ユニットとマスターテープレコーダーのマスター卓への取り付け

コードクランプをLL操作ユニットのシャーシ底面取付穴に差し込んで取り付けます。

LL操作ユニット



- ・ 図のようにしてLL 操作ユニットをマスター卓に入れます。
- ・ 下部からねじ（バインドM4×8）2本で固定します。
- ・ マスターテープレコーダーを図のようにしてマスター卓に入れます。
- ・ MTRケーブルをMTRに接続します。（6,7ページ参照）



ボタンカバーのL 操作ユニットへの取り付け

出席表示ランプにカバーをつけたい場合は、ボタンカバー（別売）を使用することができます。
お買い上げの販売店へご依頼ください。

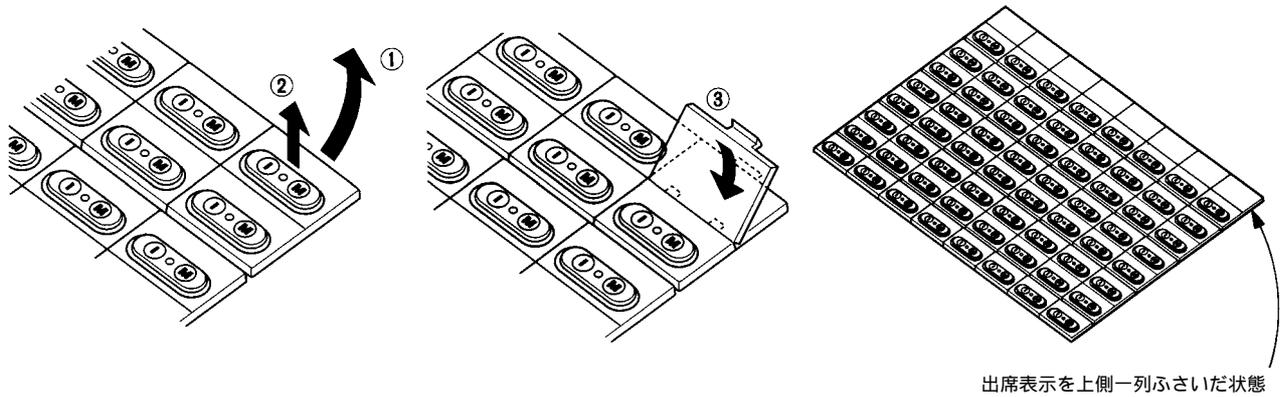
品名：ボタンカバー

品番：YWA5EA1303A3

ボタンカバーの上側を爪で引っ掛け、取り外します。

シーソーボタンを取り外します。

ボタンカバーの下側 2ヶ所のツメを先に引っ掛けた後、上側のツメをはめ込みます。



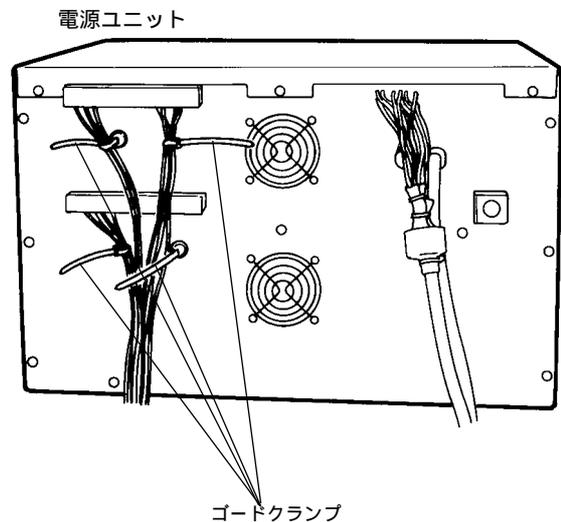
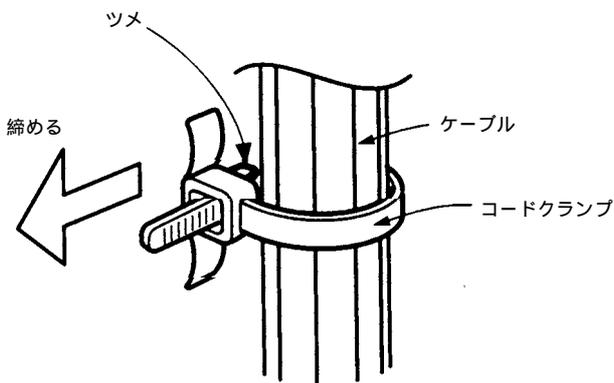
電源ユニット(WU-PS20/PS21)の設置

接続ケーブルの束線について

電源ユニットに接続したケーブルを束線する場合、次のように行ってください。

接続ケーブルを適当な太さに束ねて、コードクランプで束線します。

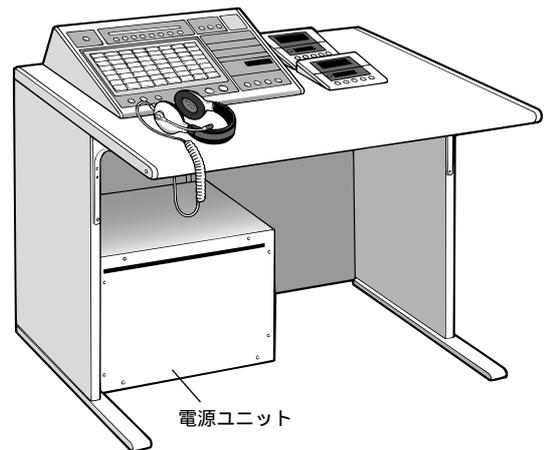
- ・ 接続したケーブルのクランプをはずす場合は、コードクランプのツメを押すとはずれます。



電源ユニット(WU-PS20/PS21)の設置

マスター卓の下に設置

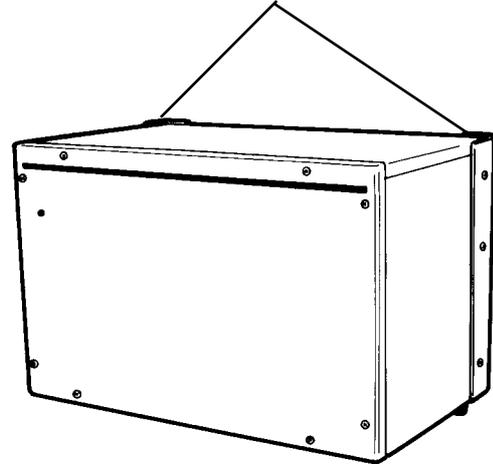
- 電源ユニット背面に取り付けてあるアングルは取り外さないで設置してください。
- 電源ユニットを2段重ねにしないでください。



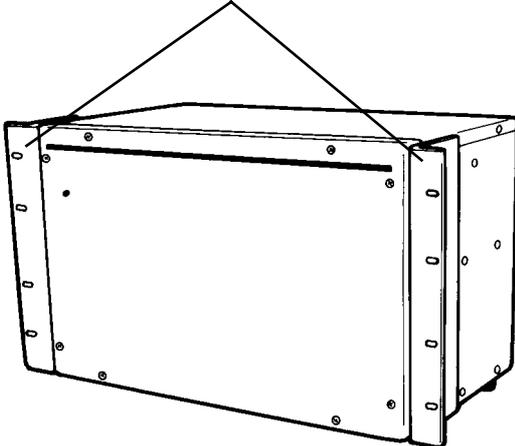
ラックへの取り付け

- 電源ユニット WU-PS20/PS21 をラックマウントするときは、次のものが別途必要になります。
取付ねじ (バインド M5×10)8
- 袖卓 WE-L190A にラックマウントするときは、上記に加えてさらに次のものが必要になります。
袖卓用ラックアングル (WL-Q08)1 (2本組)
電源ユニットからラックアングル 2本を取り外します。
前面側に ではなくした取付ねじで固定します。
ラックアングルを固定した電源ユニットを取付ねじ (バインド M5×10) でラックに取り付けます。
- 袖卓 WE-L190A に取り付ける場合は、袖卓用ラックアングル WL-Q08 を袖卓に固定してください。(詳しくは、WL-Q08 の取扱説明書をご参照ください。)

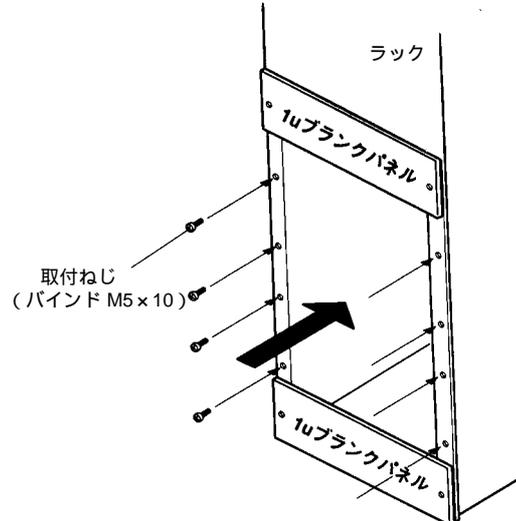
ラックアングルを取り外す



ラックアングルを取り付ける



ラック



ご注意

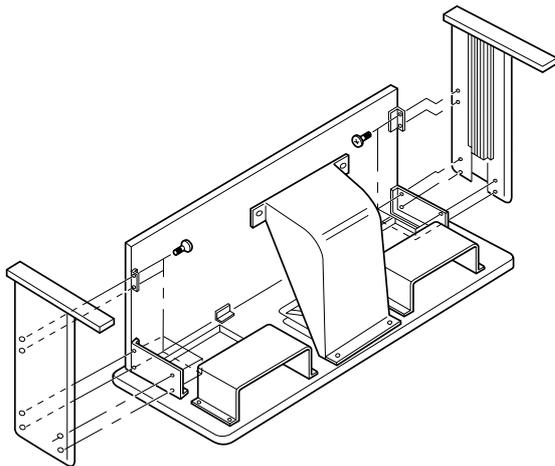
電源ユニットの上下に必ず 1U のブランクパネルを入れてください。

ブース卓の組み立て

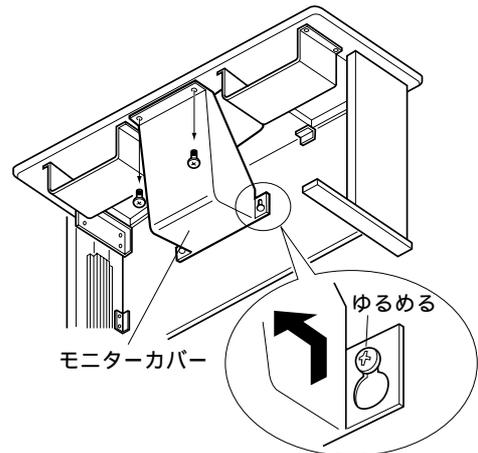
ブース卓 WE-L151A

(ブース卓 WE-L150A, WE-L152A は、それぞれの取扱説明書をごらんください。)

両脚を取り付けます。
付属ねじ (M4×8) を 12 本使用し、内側からねじ止めします。

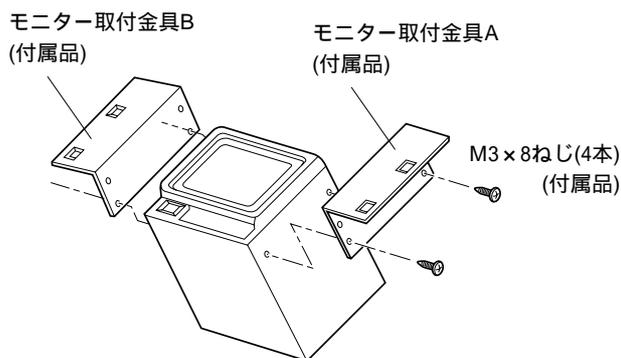


モニターカバーの上側のねじ 2 本を外し、下側のねじ 2 本をゆるめて、モニターカバーを矢印方向に持ち上げ、手前に引いて外します。

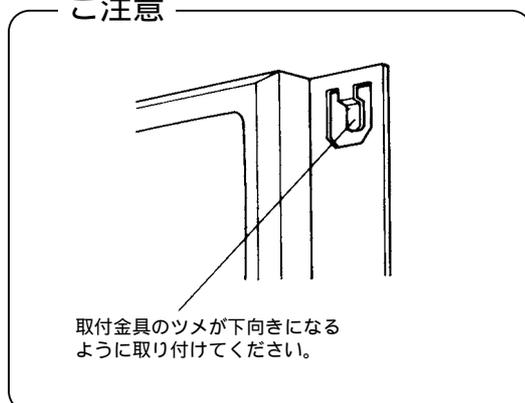


モニターテレビにモニター取付金具を取り付けます。
取り付いているねじを外し、付属のねじを使います。

WV-CM1000 の場合

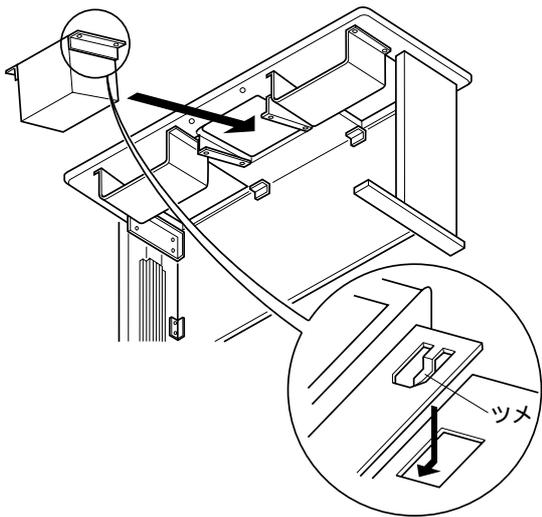


ご注意



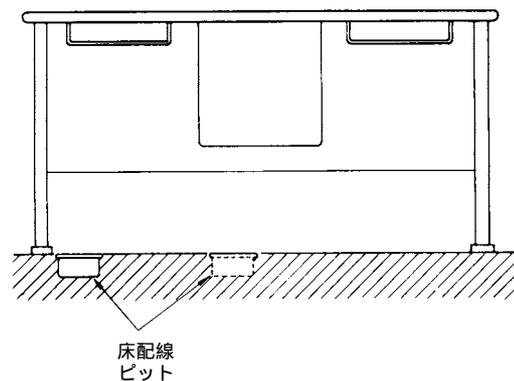
ブース卓の組み立て

モニターテレビを卓の金具の上から矢印方向に入れ、ツメを引っかけて少し手前に引き、固定します。



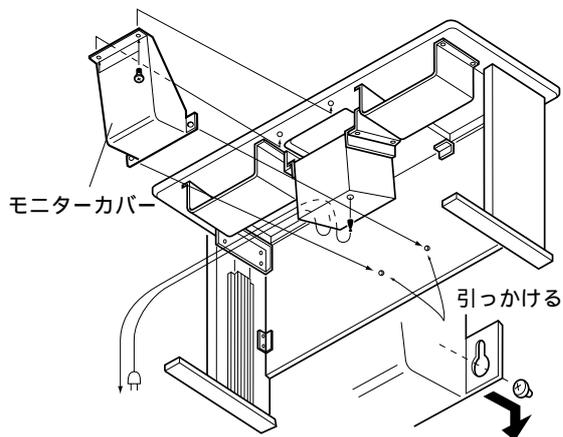
床配線ピットにブース卓の脚がくるように設置します。

やむなく床配線ピットの位置がブース卓の脚間中央に位置する場合は、ケーブルカバーを使用して配線してください。(48ページ参照)

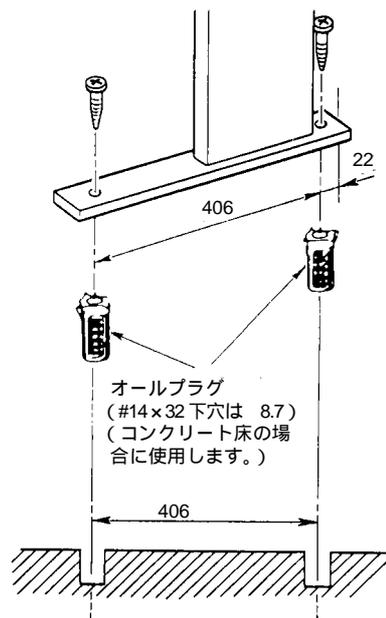


モニターケーブルを接続し、モニターカバーを取り付けます。モニターカバーは、先に下側のねじに引っかけて、上側ねじをしめてから、下側ねじをしめてください。

ケーブルは所々クランパーでクランプしてください。



付属のねじを使って図のように床にブース卓を固定します。



ブースステープレコーダーの取り付けと接続

取り付けの前に

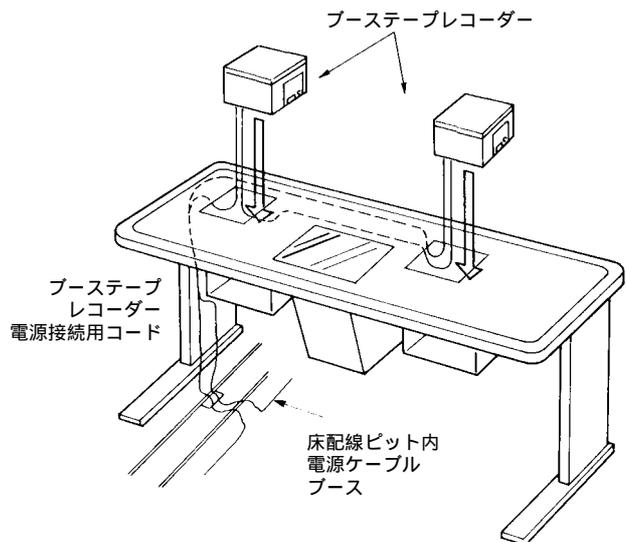
ブースステープレコーダーのアドレス番号を設定します。(42ページ参照)

接続と取り付け方法

床配線ピット内のブース電源ケーブルと次のブースステープレコーダー電源接続用ケーブルを接続し、他端を次のブースステープレコーダーの電源端子に接続します。(6,7ページ参照)

ブースステープレコーダーの電源コードをブース卓の収納用開口部に入れてから、ブースステープレコーダーを静かに入れます。

* このとき、ブースステープレコーダー用開口部の下から一方の手を入れブースステープレコーダーを支えて、そっと落とし込んでください。

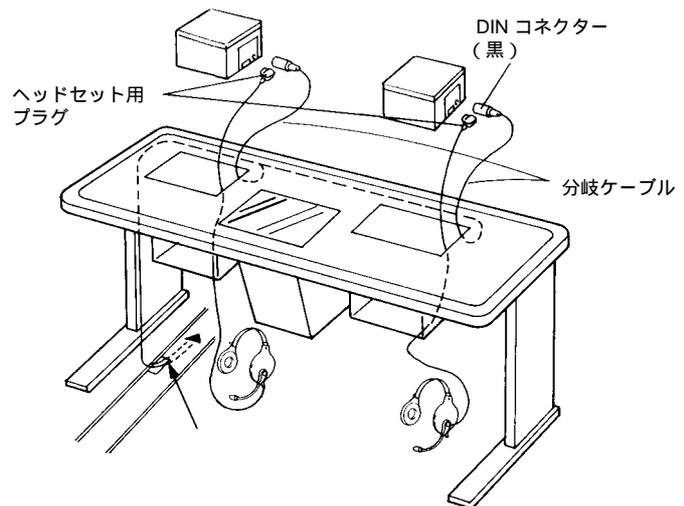


ご注意

ブースステープレコーダーの設置は水平にしてください。

分岐ケーブルの14P DINコネクター(丸型)をそれぞれのブースステープレコーダーに接続します。

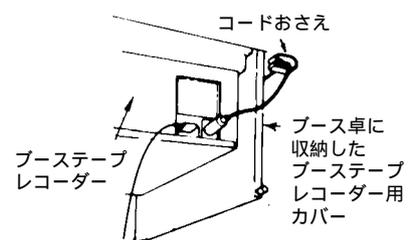
- ④ ヘッドセットをそれぞれのブースステープレコーダーに接続してヘッドセットカバーを取り付け(7ページ参照)ブース卓下のヘッドセット収納部に置きます。



ご注意

分岐ケーブルを接続するときは、接続位置を間違えないように、あらかじめ分岐ケーブルの両端にブース位置を書いた紙をセロテープなどで貼り付けておいてください。

* ブース卓のブースステープレコーダー用カバーを収納したときに、分岐ケーブルが邪魔にならない位置に付属のコード押さえを接着し分岐ケーブルを固定します。



ブーステーブルレコーダーの取り付けと接続

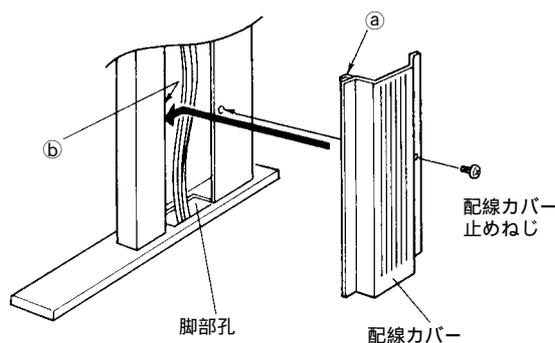
-1 配線ダクトを使用しない場合

(WE-L151A, WE-L152A の場合)

- ・ ブース卓の配線カバー止めねじ 1 本を外し、配線カバーを外します。
- ・ ケーブル類を脚部の底より立ちあげ、凹部に押し込んでから配線カバーを元通り取り付けます。

ご注意

脚部の片側端面 ⑥ に、配線カバーの溝 ⑦ を差し込んでから、ねじで固定します。



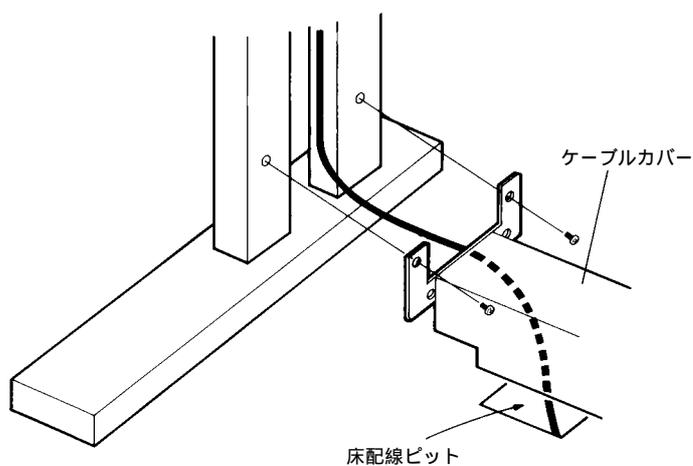
-2 配線ダクトを使用する場合

床配線ピットがブース卓の脚から離れているときは、配線ダクト（別売工事部品）を使用してください。

WE-L151A, L152A のとき

配線ダクト品番

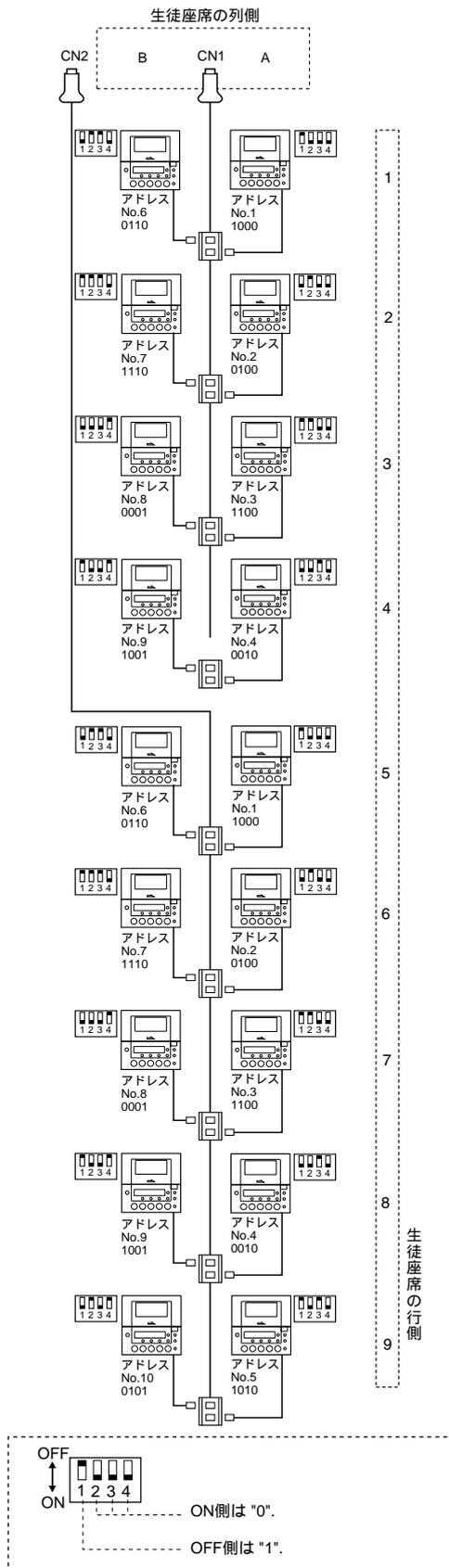
ケーブルカバー : WE-L151A 用 W2-CDE/L151
WE-L152A 用 W2-CDE/L152



ブーステーブルレコーダーのアドレス設定

9行×8列のとき

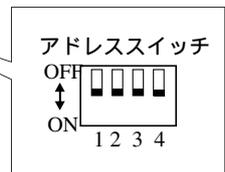
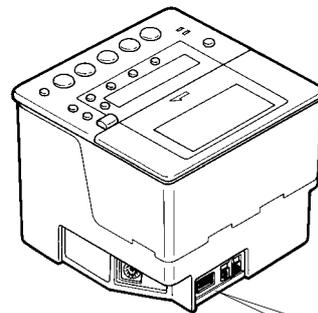
ブーステーブルレコーダーのとき



アドレス設定のしかた

ブーステーブルレコーダーは取り付けの前にそれぞれのアドレス番号を設定します。

- ・ブーステーブルレコーダー奥側にあるアドレススイッチカバーを下側にはずし、アドレス番号（コード番号）に従って設定します。
- ・電源の配線が終わったら、スイッチカバーをもとにもどしてください。



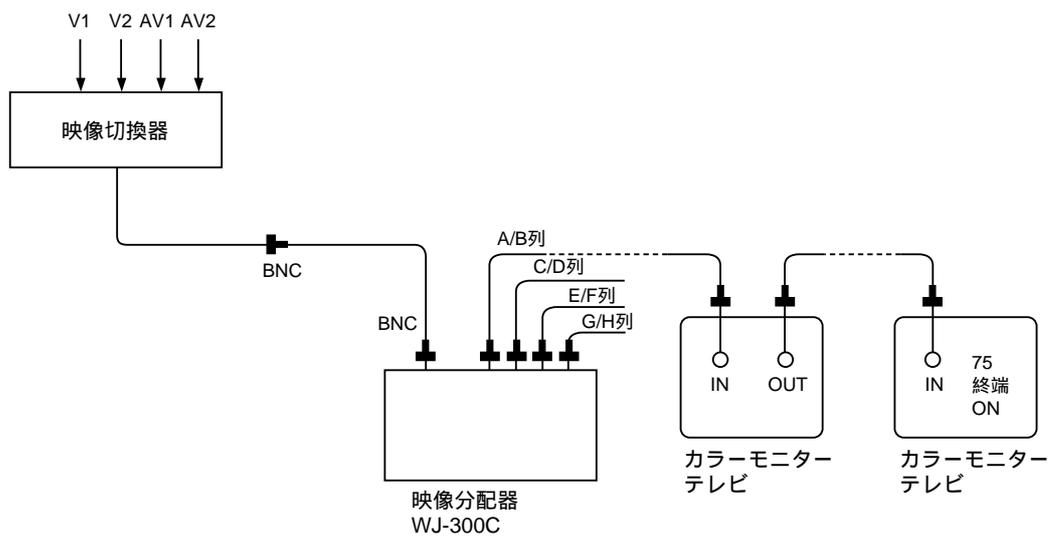
ブーステーブルレコーダーのアドレス設定

	(幹線 2)		(幹線 4)		(幹線 6)		(幹線 8)	
9	OFF ON							
8	OFF ON							
7	OFF ON							
6	OFF ON							
5	OFF ON							
4	OFF ON							
3	OFF ON							
2	OFF ON							
1	OFF ON							
	A	B	C	D	E	F	G	H
	(幹線 1)	(幹線 3)	(幹線 5)	(幹線 7)				

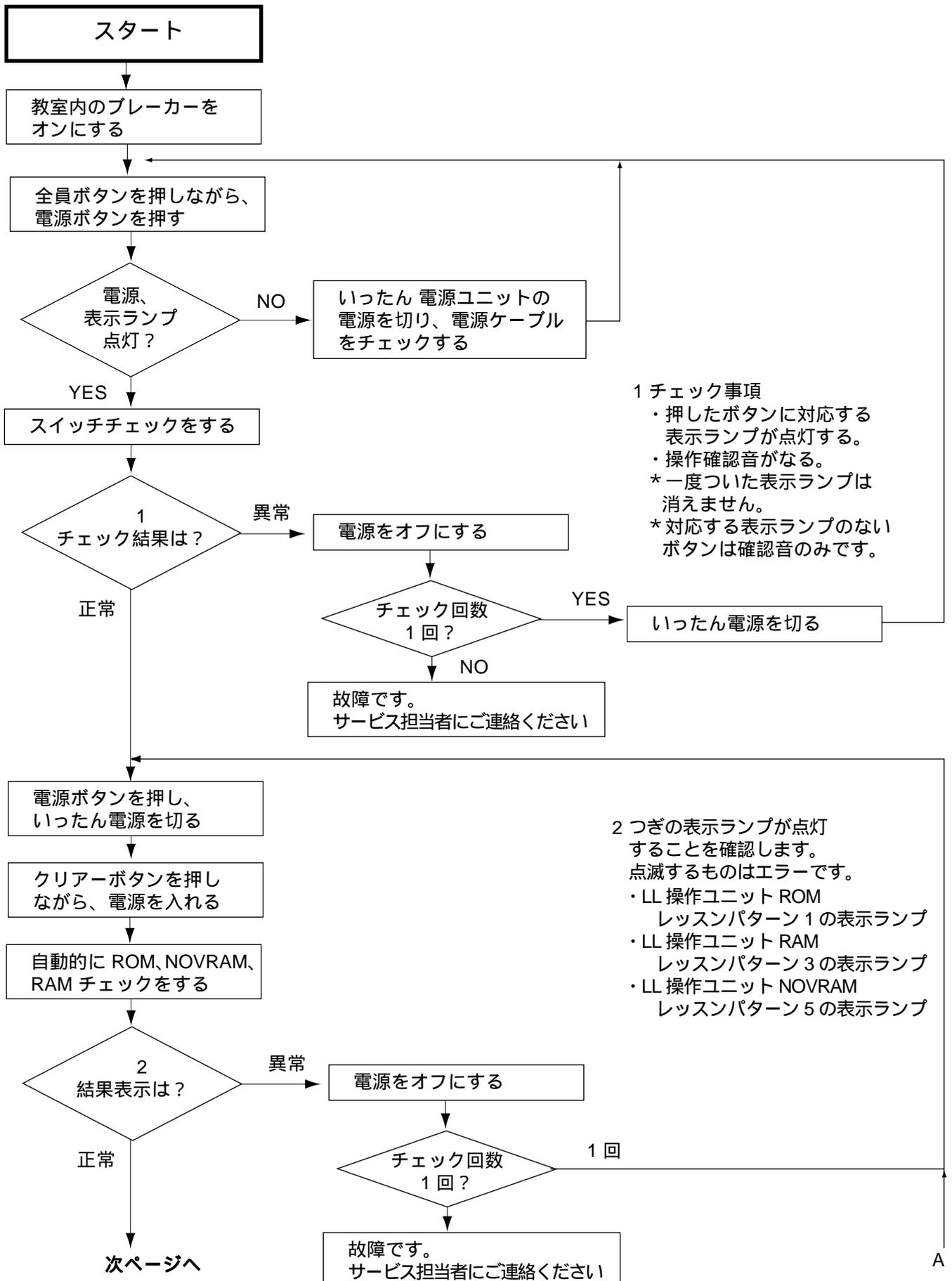
ブース用モニターテレビの接続

映像切換器（現地調達）により映像を使用する場合

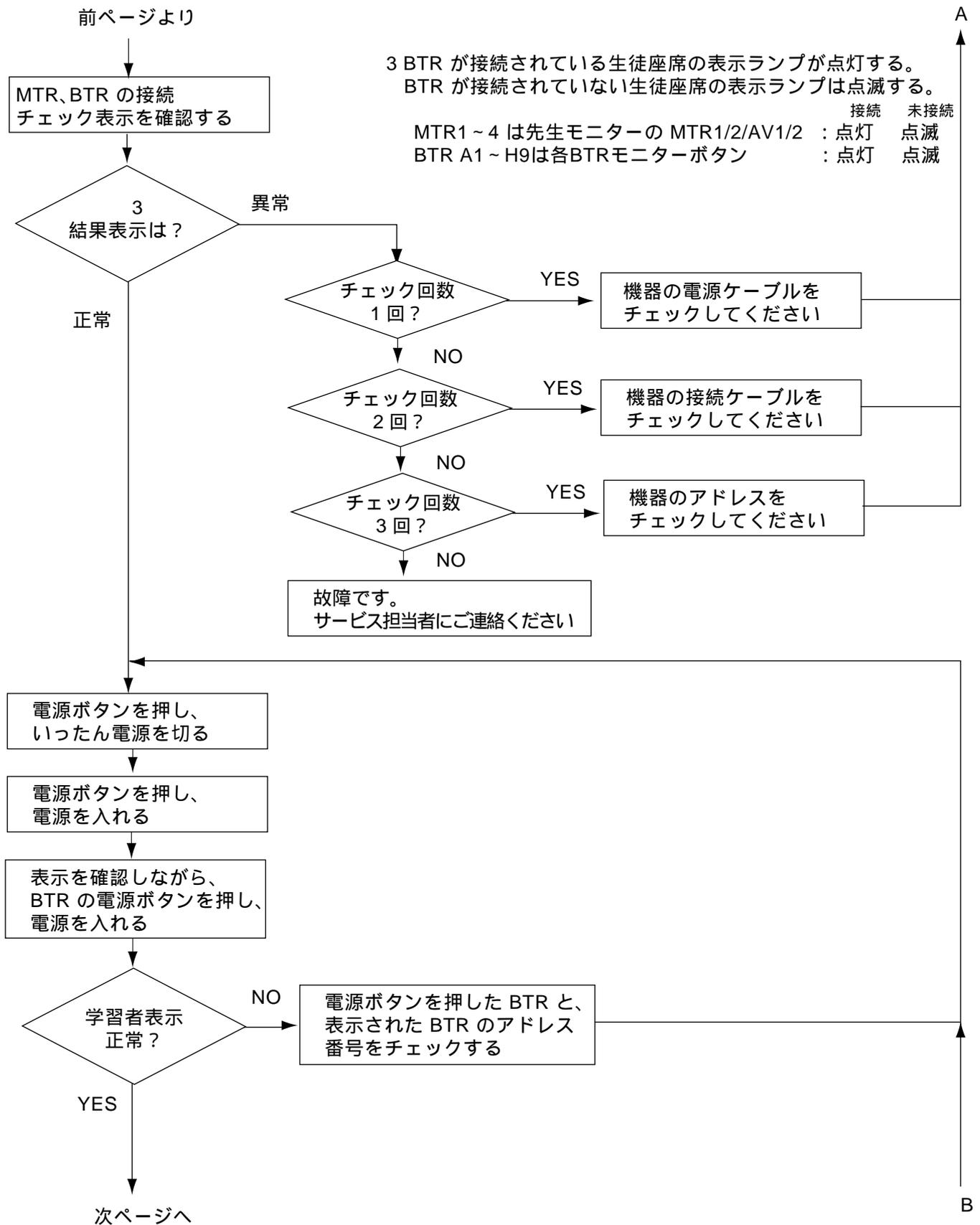
映像分配器を使用します。

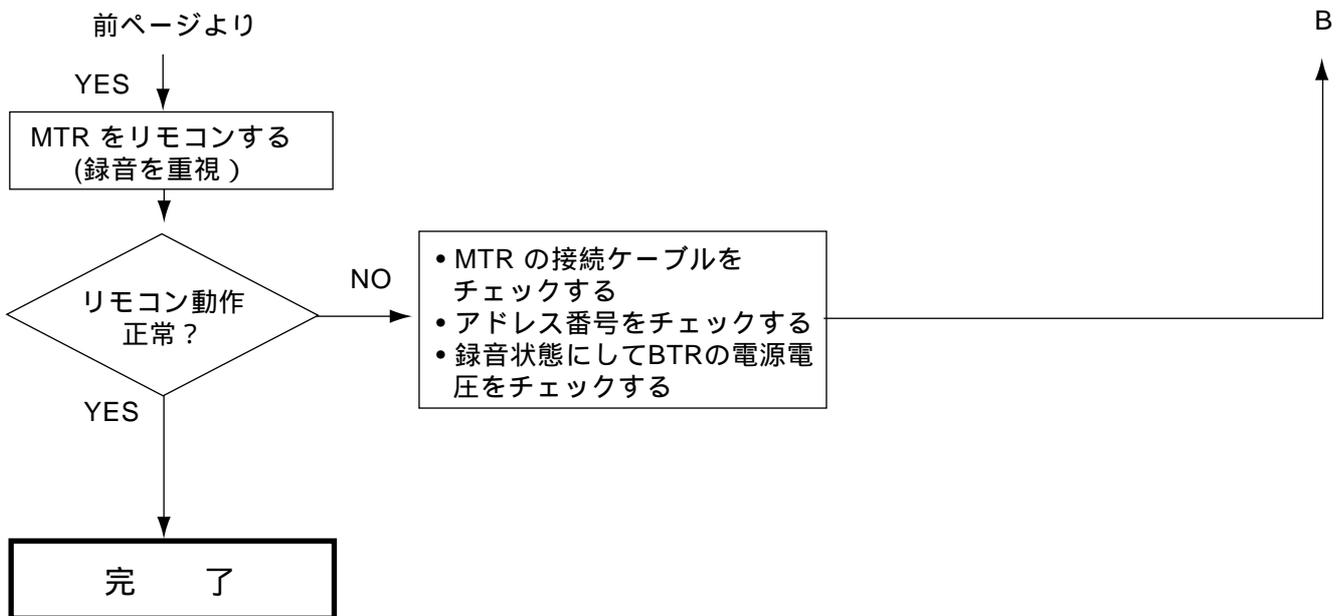


システムチェック

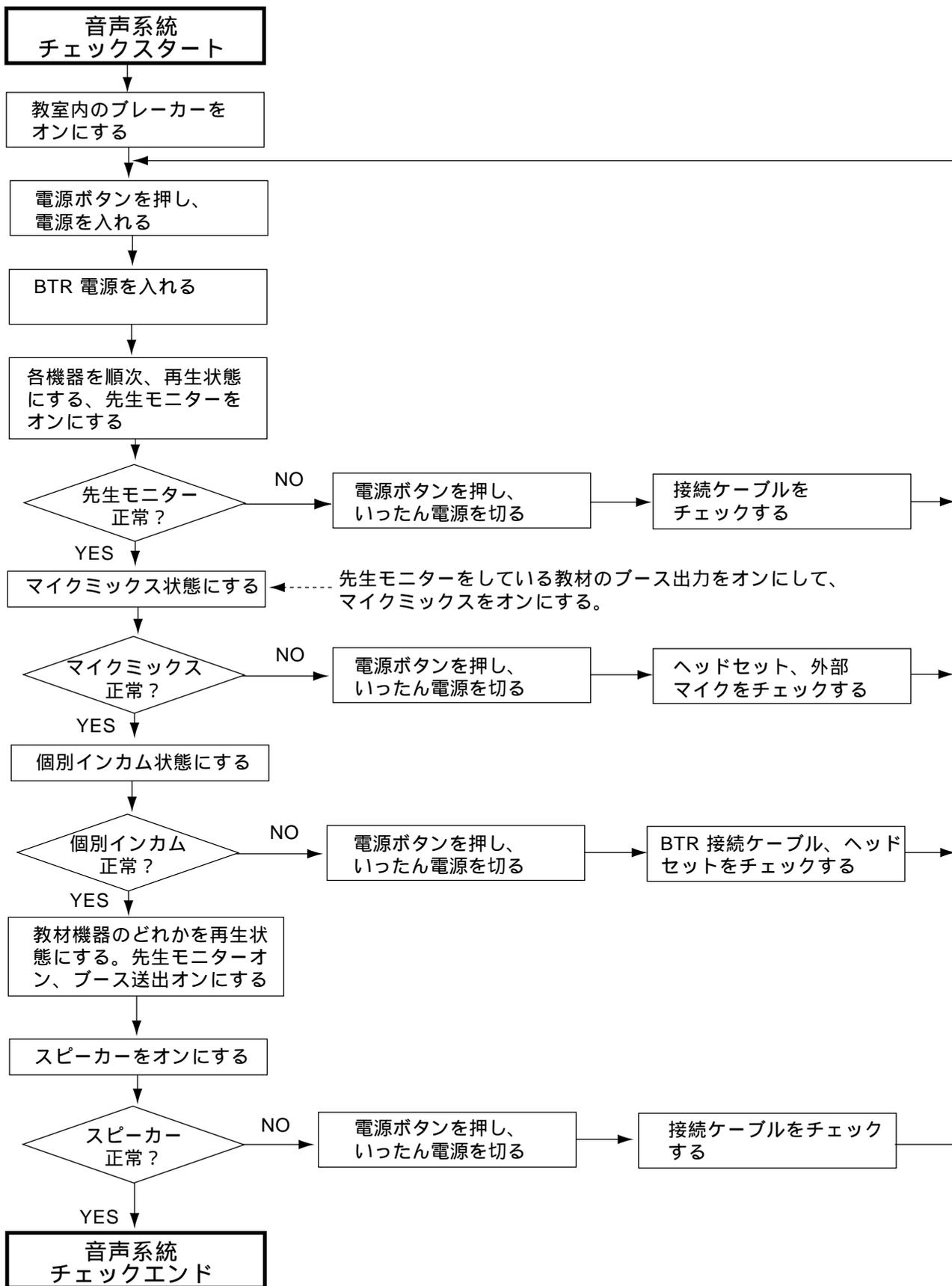


システムチェック





システムチェック



システムの自己診断

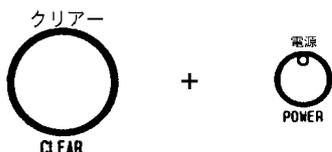
システムの状況を診断・表示します。

ROM/RAM チェック、MTR/BTR 回線チェック、通信エラー表示を授業以外で行います。

1 診断を起動します。

クリアボタンを押しながら電源ボタンを押します。

・診断状態になります。



2 診断結果を表示します。

・右表のように、結果を表示します。

*1 NOVRAM が異常だった場合などに内容を初期化することができます。この状態から登録ボタンを押し、レッスンパターン 5 ボタンを 2 回押します。そして、電源ボタンを押し、LL 操作ユニットをオフにします。

その後、LL 用電源ユニットの電源を切ります。

チェック箇所	結果表示ランプ	ランプ状態	
		点灯	点滅
ROM	レッスンパターンボタン 1	正常	異常
RAM	" 3	正常	異常
NOVRAM	" 5	正常	異常 * 1
MTR 1	先生モニターボタン MTR1	接続	未接続
MTR 2	" MTR2	接続	未接続
MTR 3	" AV1	接続	未接続
MTR 4	" AV2	接続	未接続
BTR A1 ~ H9	各 BTR モニターボタン	接続	未接続

エラー発生時の対処方法

ユニット名	エラー内容	エラーの対処方法
LL 操作ユニット	ROM エラー	ROM 交換、LL 操作ユニットの CPU 基板交換・修理
LL 操作ユニット	RAM エラー	LL 操作ユニットの CPU 基板交換・修理
LL 操作ユニット	NOVRAM エラー	NOVRAM 交換、LL 操作ユニットの CPU 基板交換・修理

スイッチ動作チェック

1 スイッチ動作チェックを起動します。

全員ボタンを押しながら電源ボタンを押します。

・スイッチ動作チェック状態になります。



2 スイッチをチェックをします。

任意のボタンを押します。

・正常に動作していれば、表示ランプ付きのボタンの場合は、確認音が鳴り、表示ランプが点灯します。表示ランプのないボタンも、対応する表示ランプのある場合は、対応する表示ランプが点灯します。表示ランプなしのボタンの場合は、確認音のみ鳴ります。異常がある場合、表示ランプは点灯せず、確認音も鳴りません。

エキスパート機能の設定

エキスパート設定一覧表

レッスンパターンボタンごとに各機能の動作などの設定ができます。

は出荷時の設定です。

番号	タイトル	機 能	出荷設定
1	モデル練習モード	モデル練習を行うとき、同一チャンネル内の10人までのグループで行うか、個別に行うかの設定をします。	<input type="checkbox"/> グループ <input type="checkbox"/> 個別
2	コミュニケーション 復帰	インカム、モデル、グループインカム中にコール応答を行ったとき、元のコミュニケーション状態に復帰するか、クリアーするかを設定します。	<input type="checkbox"/> 復帰する <input type="checkbox"/> クリアーする
3	マスキング	個別インカムなどのときに再生または練習録音中のブーステップレコーダーを一旦停止させるかさせないかを設定します。 (会話レッスン、グループインカム時は停止したままになります)	<input type="checkbox"/> 停止させる <input type="checkbox"/> 停止させない
4	個別インカム時の チャ임音	個別インカムをする場合にインカムボタンを押した時にチャ임音を聞かせるか聞かせないかを設定します。	<input type="checkbox"/> 聞かせる <input type="checkbox"/> 聞かせない
5	マスター卓と ブース電源連動	マスターの電源オンでブース電源が一斉に入るか、入らないかを設定します。	<input type="checkbox"/> 入る <input type="checkbox"/> 入らない
6	ブース電源 オフ指示	ブース電源を先生側から自由に切れるか、切れないかを設定します。	<input type="checkbox"/> 切れる <input type="checkbox"/> 切れない
7	ブース単独使用 (制御不可)	ブースステプレコーダーをLL操作ユニットから制御して通常のLLシステムとして使用するか、制御しないで単独で使用するかを設定します。 ブース単独使用するに設定した場合は、教材の送出、コミュニケーション等はできません。	<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない
8	ペア・グループの 組みかた	会話練習をするとき、相手の学習者が欠席や遅刻した場合、その学習者を自動的に他の組みに入れる(自動組み換え) 先生が選択する(手動組み換え)のどちらかを設定します。	<input type="checkbox"/> 自動組み換え <input type="checkbox"/> 手動組み換え
9	ペアの組みかた	ペアレッスンで座席が左右のペア(横ペア)で練習させるか、前後のペア(縦ペア)で練習させるかを設定します。	<input type="checkbox"/> 横ペア <input type="checkbox"/> 縦ペア
10	スキャン方向	オートモニター時のスキャン方向を縦方向/横方向のどちらかに設定します。	<input type="checkbox"/> 縦方向 <input type="checkbox"/> 横方向
11	電源オン後の オールコール	電源オン後にオールコールを行うか、行わないかの設定をします。	<input type="checkbox"/> 行う <input type="checkbox"/> 行わない
12	遅刻者の授業への 参加	遅刻した学習者を自動的にCH1/2に組み入れるか、参加させない(自習)かを設定します。	<input type="checkbox"/> CH1に組み入れる <input type="checkbox"/> CH2に組み入れる <input type="checkbox"/> 参加させない
13	スキャン時間	オート/グループモニター時のスキャン時間を5秒/10秒/15秒のいずれかに設定します。	<input type="checkbox"/> 5秒 <input type="checkbox"/> 10秒 <input type="checkbox"/> 15秒
14	モニター/インカム時の ルームスピーカー	学習者をモニター/インカムしたときに、ルームスピーカーの音が切れるか、切れないかを設定します。	<input type="checkbox"/> 切れる <input type="checkbox"/> 切れない
15	自動イジェクト	教材録音中にテープエンドとなったブーステプレコーダーを自動的にイジェクトするかしないかを設定します。 WE-LB51使用時は、イジェクトロックを解除する/しないの設定となります。	<input type="checkbox"/> イジェクトする <input type="checkbox"/> イジェクトしない
16	教材録音時の マイクオフ	ブースリモコンでの教材録音時に、自動的にマイクオフにするかしないかを設定します。(4倍速録音中は無効)	<input type="checkbox"/> オフにする <input type="checkbox"/> オフにしない
17	学習者手動 録音禁止	学習者側の手動での録音を禁止するかしないかを設定します。 (練習録音は禁止しません)	<input type="checkbox"/> 禁止する <input type="checkbox"/> 禁止しない
18	使用チャンネル	授業で使うチャンネルをチャンネル1のみか、複数チャンネルかを設定します。	<input type="checkbox"/> CH1のみ <input type="checkbox"/> 複数CH
19	ブース録音 (CH1のみ)	ブースリモコンによる録音・自動録音時にブーステプレコーダーに録音される音声はL chのみかL/R chかを設定します。	<input type="checkbox"/> L L/R <input type="checkbox"/> L L

エキスパート機能の設定

エキスパート機能の変更

エキスパート機能シートをガイドピンにあわせて、生徒座席の位置におきます。
LL操作ユニットの電源は切っておきます。

1 エキスパート機能設定に入ります。

登録ボタンを押しながらLL操作ユニットの電源を入れます。



- 電源表示ランプがつき、設定されているエキスパート機能に対応してモニターボタンの表示ランプがつきます。

2 エキスパート設定に入ります。

設定が割り当てられている生徒座席のモニターボタンを押し、設定を変えます。

- 設定したモニターボタンの表示ランプがつきます。

3 エキスパート設定を終了します。

電源ボタンを押して電源を切ります。

- 全表示ランプが消えます。



レッスンパターンの設定の際は、本説明書末尾の「レッスンパターン設定シート」をコピーしてお使いください。

ご注意

エキスパート設定を一度登録すると、変更しないかぎり、電源を入れると同じ設定になります。
レッスンパターンボタンで電源を立ち上げると、電源を切るか他のレッスンパターンボタンを押すまでそのレッスンパターンに登録されているエキスパート設定になります。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WE-LL200シリーズ
	販売店名	☎ () -				

松下電器産業株式会社

AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410